教　育　委　員　会　会　議　録

（　臨　時　会　）

令和元年８月８日開催

さいたま市教育委員会

１　期　　　　　日　令和元年８月８日（木）
２　場　　　　　所　教育研究所　５階研修ホール
３　開　　　　　会　午前９時００分
４　出　席　委　員

教　　育　　長	細　田　眞由美
教育長職務代理者	大　谷　幸　男
委　　　　　員	石　田　有　世
委　　　　　員	野　上　武　利
委　　　　　員	武　田　ちあき
委　　　　　員	柳　田　美　幸

５　議場に出席した者

副教育長	久保田　　章
管理部長	高　崎　　修
学校教育部長（選定委員長）	平　沼　　智
生涯学習部長	竹　居　秀　子
学校教育部参事兼指導１課長	三　島　公　夫
学校教育部参事兼教職員人事課長	澤　田　純　一
教育総務課長	髙　木　泰　博
（小学校）	
国語調査専門員長	辻　　美由紀
書写調査専門員長	柳　下　政　浩
社会・地図調査専門員長	小　堺　新　一
算数調査専門員長	新　堀　　栄
理科調査専門員長	高　後　　仁
生活調査専門員長	佐　野　公　子
音楽調査専門員長	米　原　大　司
図画工作調査専門員長	村　田　寿　一
家庭調査専門員長	渋　谷　恵　子
保健調査専門員長	小　野　圭　司
英語調査専門員長	書　上　純　子
道徳調査専門員長	内　野　多美子
（中学校）	
音楽（一般・器楽合奏）調査専門員長	森　角　由希子
美術調査専門員長	金　子　宜　史
保健体育調査専門員長	坂　田　真　澄
技術家庭・英語調査専門員長	山　田　尚　弘

６　会議録署名委員　武　田　ちあき

７　議事等の概要

細田教育長　　それでは、ただいまから教育委員会会議を開会いたします。
本日は、傍聴を希望する方は、いらっしゃいますか。

書記　　３２名いらっしゃいます。

細田教育長　　本日は、会議の傍聴を希望する方がいらっしゃいますが、許可してよろしいでしょうか。

各委員　　<異議なし>

細田教育長　　それでは、傍聴を許可します。
本日の会議録の署名委員は、武田委員にお願いいたします。
本日の会議に、議案第８２号「さいたま市教職員（管理職）の人事について」を追加提出いたします。
本日の議案第８２号は人事に係る案件であることから非公開とすることをお諮りしたいと思いますが、委員の皆さんいかがでしょうか。

各委員　　<異議なし>

細田教育長　　それでは、出席委員全員の賛成をいただきましたので、ただ今申し上げた議案は非公開といたします。
本日の会議の順番ですが、公開議案であります議案第８０号、８１号、非公開議案であります議案第８２号の順に審議を行うことといたします。

議案第８０号　令和２年度使用さいたま市立小学校用教科用図書の採択について

細田教育長　　それでは、議案第８０号につきまして、事務局から説明をお願いします。

指導１課長　　議案書の１ページを御覧ください。
本議案は、令和２年度からさいたま市立小学校で使用する、教科用図書の採択をお願いするものです。
教科用図書の採択については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２１条第６号及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第１０条、並びにさいたま市教育委員会教育長に対する事務委任規則第２条第３号等の規定により、埼玉県教育委員会の指導

助言のもとに、さいたま市教育委員会で行うことになっております。従いまして、本日ここに教科用図書の採択をお願いするものでございます。

今年度採択していただく小学校用の教科用図書は、国語、書写、社会、地図、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、保健、英語、道徳の１３種目でございます。

各種目の採択では、始めに教科用図書調査専門員長から、調査専門員会の結果を報告させていただきます。次に、教科用図書選定委員長から、選定委員会の結果を報告させていただきます。その後、学校の研究結果を事務局から報告させていただきますので、審議の後、採択をお願いいたします。

以上でございます。

細田教育長　　これから、教科書採択の協議検討に入ります。お手元にお配りしている協議順の一覧のとおり進めていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員　　＜異議なし＞

道徳

細田教育長　　それでは、道徳の教科書について協議検討を行います。

調査専門員長から調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　　道徳の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された８種６６点全てについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。

まず、東京書籍です。内容については、３年の８３ページを御覧ください。３年生以上の教材の末尾には、「考えよう」として、２つの問いを示しています。また、６年の５５ページから６９ページを御覧ください。全学年において、「いじめのない世界へ」として、いじめの問題について「正面から考える教材」と「いじめの防止につながる教材」を組み合わせた「ユニット形式」で重点化を図っています。４年の９６ページから９９ページを御覧ください。全学年「活動型教材」を設け、児童の活発な議論を促し、多様な考えを引き出し、多面的・多角的に考えることができるよう工夫されています。資料については、２年の１０７ページを御覧ください。アニメのキャラクターや、写真、挿絵を大きく掲載するなど、親しみ

やすくなっています。
次に学校図書です。「きづき」と「まなび」の二冊構成となっています。内容については、５年の「きづき」１１１ページを御覧ください。全学年に「ともに生きる」というコラムがあり、学年に応じてよりよい対人関係を育てる内容が記載されています。また、２年の「きづき」７２ページを御覧ください。情報モラルに関する様々な生活場面を取り上げ掲載しています。３年の「まなび」２０ページから２１ページを御覧ください。「やってみよう」「かんがえよう」「みつめよう」の項目を設け、体験的な学習、多面的・多角的に考える学習、自己の生き方について考える学習などを促す構成となっています。資料については、４年の「きづき」１９ページを御覧ください。自然の素晴らしさや偉大さが伝わるよう、写真などを大きく掲載しています。

次に教育出版です。内容については、５年の２９ページを御覧ください。教材ごとに末尾に、主に３つの問いを示し、多面的・多角的に考えたり、自己の生き方について考えを深めたりできるようにしています。また、３年の５８ページから６３ページを御覧ください。実際の行動と結び付けて道徳的価値について学べるよう、モラルスキルトレーニングを取り入れた教材が各学年に配置されています。資料については、特に高学年において、偉人や実業家が多く取り上げられています。また、２年生の１３８ページを御覧ください。低学年の巻末に折込みページで「みにつけよう　れいぎ・マナー」が掲載されています。

次に光村図書出版です。内容については、５年の目次を御覧ください。学校生活と関連付け、一年間を３つのまとまりとして構成しています。また４年の４１ページから４９ページを御覧ください。いじめの問題や情報モラルなど、現代的な課題について、複数の教材とコラムを組み合わせて学ぶ「ユニット形式」とし、物事を多面的・多角的に考える工夫がなされています。６年４０ページから４１ページを御覧ください。「心を通わそう」というコラムで、二人組やグループで話し合うことができるような場面が設定されています。資料については、２年の９２ページのように、児童の興味を引き出し、考えたくなる多様な形式の教材が各学年に複数掲載されています。

次に日本文教出版です。教材と道徳ノートの二冊で構成されています。内容については、６年目次を御覧ください。各学年の重要なテーマを「人との関わり」とし、いじめ防止について、年間３回、複数の教材とコラムを組み合わせたユニット式で教材を配置しています。３年２８から２９ページを御覧ください。「心のベンチ」で

は、教材と関連した内容や活動を取り上げ、体験的に学んだりすることができるように工夫されています。資料については、４年生の２８ページに大宮盆栽美術館を題材とした教材が掲載されています。

次に光文書院です。内容については、４年９９ページを御覧ください。教材の末尾には考えたことをまとめたり、学んだことを日常生活に広げたりする問いが示されています。また、６年の１３９ページを御覧ください。生命の尊さを重点として、各学年、２から３教材掲載しています。５年の４４ページを御覧ください。全学年に、コラム「みんなで やってみよう」を設け、コミュニケーション能力を高めるための体験的活動等を提示しています。資料については、２年生の７０ページを御覧ください。漫画形式の教材や絵や大きい写真などが掲載されています。

次に学研教育みらいです。内容については、５年８５ページから９３ページを御覧ください。最重点テーマを「命の教育」と定め、どの学年でも特集ページを組んでおり、複数の教材を連続して学べるよう配置しています。また、４年３９ページを御覧ください。教材文の後に「深めよう」というコーナーを設け、問題解決的な学習や体験的な学習を通して、考えを深められるように工夫されています。３年１３０ページを御覧ください。情報モラルについては、マークが用いられており、教材とコラム「広げよう」を組み合わせ、興味・関心を持ち学習できるようにしています。資料については１年３６ページを御覧ください。大きな写真や絵、漫画形式や学校生活でありそうな場面を挿絵として掲載しています。

次に廣済堂あかつきです。教材と道徳ノートの２冊構成になっています。内容については、３年５９ページを御覧ください。「学習の道すじ」では、発達の段階に応じためあてや問いが示され、「学習を広げる」では、教材に関連した知識が記載されていたり、「活動しよう」として、体験的な活動を促したりする内容が示されています。また、４年１３０ページを御覧ください。情報モラルについて考えられる教材とは別に、３年生以上に特設ページを設け、折に触れ活用できるように工夫されています。資料については、６年道徳ノート６ページを御覧ください。内容項目別に構成されており、道徳的価値についての解説を記載し、道徳的価値について考えを深める活動や問いが示されているなどが掲載されています。

以上で道徳の説明を終わりにいたします。

細田教育長　　続いて､選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします

選定委員長　　種目道徳について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－１の１３ページを御覧ください。

推薦する発行者は、学校図書、教育出版、学研教育みらいの３種です。

学校図書の優れている点は、教材文を掲載した「きづき」と主題名や発問を掲載した「まなび」の２分冊で構成されており、「きづき」は教材文のみの掲載であるため、教材についての発問が児童の目に入ることなく、教師の意図を反映する授業を組み立てやすい点でございます。また、日常生活の場面からいじめにつながる問題点を見出し、主体的に考え判断できるような教材や互いを受け入れることについて考えられるような教材を配置している点も挙げられます。

教育出版の優れている点は、教材の冒頭に問題意識を高める問いが示されており、末尾には、「考えよう」「深めよう」として、主に３つの問いを示し、多面的・多角的に考えたり、自己の生き方について考えを深めたりできるようにしている点でございます。また、教材が内容項目ごとにまとめられており、「いじめをなくす」「生命尊重」には、色やマークを付けて強調して示されている点なども挙げられます。

学研教育みらいの優れている点は、教材の末尾に、教材を通して道徳的価値を考える問いと自己の生き方を深く見つめる問いを示し、問いの中身を精選することで、より教師の工夫した発問が可能になる点が挙げられます。また、最重点テーマを「いのちの教育」と定め、どの学年でも特集ページを組み、いじめ防止に関して、いじめに係る場面を基に、多面的・多角的に考えられる教材を配置している点などが挙げられます。

細田教育長　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導１課長　　各学校におかれましては、それぞれの発行者の教科用図書について、十分な調査研究を行っていただきました。各学校の調査研究における主な研究所見を、発行者別に報告いたします。

それでは、道徳の各学校における主な研究所見を、教科書目録順に報告いたします。

東京書籍、児童に考えさせたい、親しみのわく教材が多く取り上げられている。学校図書、ノートが別冊となっており、教師の願いや児童の実態に合わせて学校で統一した指導ができる。教育出版、挿絵や文章が児童の発達段階に即しており、教師も児童も学習の見通しがもちやすい。光村図書出版、挿絵が大きくて見やすく、話合いのポイン

トが明確である。日本文教出版、教材の冒頭にあらすじが表記されていて活用しやすい。光文書院、多面的・多角的に考えながら価値を理解のできる設問がある。学研教育みらい、思考の深まりを促す教材が多い。廣済堂あかつき、ノートが付随しており児童の変容を捉えやすい、などでございます。

なお、各学校の研究所見の概要につきましては、資料Ｃ－１、１９ページから２１ページにまとめておりますので御覧ください。

細田教育長　　以上の説明を踏まえまして、協議を行いたいと思います。委員の皆様は、御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員　　調査専門員長にお伺いします。私たち２年前に小学校の道徳を選定しましたけど、教科書の内容が大分変わっているようです。どの教科書も大変よくなっていると思います。

そこで質問ですが、今回の教科書からＱＲコードがついているものがあります。私の意見としては、理科とか数学ではＱＲコードは大変有効かと思いますが、国語とか道徳においてはどのように活用するのでしょうか。

また、別冊のある教科書ですが、教科書の中に取り込むことは難しいのでしょうか。別冊にすると教科書が重くなることを憂慮しておりますが、いかがでしょうか。

調査専門員長　　まずＱＲコードについてでございますが、ＱＲコードがついている教科書は５種、東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書、学研教育みらいでございます。そのほかにＵＲＬがついているのが、日本文教出版、廣済堂あかつきでございます。ＱＲコードの活用につきましては、各社教材の内容を深めるための動画や登場人物等の紹介の画像を見ることができます。そういったものを授業の中で活用することは有効であると考えております。

二点目に、別冊が付いているものと無いものということでございましたが、ノートがあります利点としましては、自分の考えをまとめて継続的に記録するということが利点として挙げられます。一方でノートがあることによって授業の展開がある程度固定化されるという可能性もあると考えます。従って現在は各学校において、教科書付属の資料等から、授業の狙いに即してワークシート等を活用して考えたことを記述するということを多くの学校が行っているところでございます。

大谷委員　　教育の目的について、教育基本法第一条に人格の完成、また国家社

会の形成者の育成ということがうたわれています。さいたま市では人格形成において、知・徳・体にコミュニケーションを加えており、これはさいたま市の独自性があるところと思っておりますが、道徳においては、コミュニケーションのうち礼儀であるとかマナーが重要であると考えています。きちっとした姿勢で礼をするなどということは、全ての教育活動の中で指導すべきことであると思いますが、特に道徳で指導することで、それは学力向上にもつながっていくと感じております。

二つ目でありますが、今の子どもたちは伝記を読む機会が少ないように感じています。自分自身の生き方やあり方というものを考えるときに、道徳において先人の生き方を取り上げている教材が良いと思っております。そこで一つ質問いたしますが、郷土の誇りうる偉人である渋沢栄一について取り上げている教科書はどの程度ありますか。

最後の質問になりますけれども、現在使っている教科書について、何らかの学校から支障等の報告がなされているのか確認させていただいます。

調査専門員長　　教育出版、廣済堂あかつきにおいて渋沢栄一を取り上げております。その他の偉人に関しましては各教科書において多数取り上げておりますが、渋沢栄一につきましてはこの２社で取り上げられております。

指導１課長　　現在使用している教育出版につきまして、学校の調査研究結果では、質問の数が精選されていて見通しを持ちやすいといった所見も寄せられています。また使いやすさについては、使いにくいという報告は届いておりません。

細田教育長　　お手元の資料にもございますが、教育出版の教科書については、そのほかに、１時間で学ぶことが明確になっているなど肯定的な意見が多数寄せられていることを補足いたします。

野上委員　　石田委員からも指摘がありましたが、教科書の内容がかなり変わったなと印象がございます。その中で、一般論として申し上げますが、大人でも難しい判断を迫られる内容の教科書があり、どの教科書も読みごたえがあると感じますが、教育出版の目次には案内があり、小学生の発達段階を考慮すれば、教育出版はそのバランスがとれているのではないかと思います。

武田委員　　先ほど石田委員からお話がありました分冊ノートになっているも

の、また、様々な発問やキャラクターという点において、道徳の教科書はどうあるべきかという点について一言申し上げます。道徳以外の他の教科では、学び方を学ぶというのはとても大切なことだと思いますが、道徳の場合は普段の生活の中で自らの生き方を考えることが重要であり、教科書はそれを導くものであると考えています。そのように考えますと、分冊ノートやキャラクターの設定など、企画性の強い教科書は、現実とのリンクを外してしまうことにならないか懸念するところでございます。また、分冊ノートについては、作業量が多くなってしまう懸念があり、それでは作文の時間になりかねないという分量のものもありますので、そういうのは避けた方がいいように思います。そして、先ほど申し上げたように道徳の授業というのは、子どもの中に自分の生き方について種をまく科目なのかと思いますので性急に結果を求めるのではなく、学研教育みらいの場合には、各セクションの中で書かせるところはあるものの、そんなに分量はなく、その程度で十分じゃないのかと思います。道徳では、どこに問題があるのか自体をそもそも見つけるということも重要な学びの第一歩で、初めから設問が細かく設定されているような教科書は、問題発見のプロセスというものが先回りしてつぶされているように思います。また、本文の欄外などに様々なキャラクターがコメントしているものは、考え方の導きになり使いやすい点があるとは思いますが、道徳の教科特性を考えると、子どもに自由に考えさせる教科書の形式であるということを選定の基準として一つあってもいいのかと思います。

大谷委員

　もう一点、道徳教育では、人権意識をどこまで高められることができるかを重視したいと思っております。そうした中で先ほど先人の生き方ということで申し上げましたけども、例えばマンデラ大統領などの生き方を通した公民権の確立といった点についても、検討すべきと思います。

石田委員

　教科書８社見まして、是非さいたま市の子どもに読んでほしいというものが２つありました。まず一つは日本文教出版の４ページの、いのちの時間という私の尊敬する日野原重明先生が執筆した演題と、教育出版の３年の３８ページの笑顔いっぱいというものです。笑顔いっぱいという演目は非常に大切と感じており、教育出版の考えよう深めよう繋げようという３つの演目を、皆で考えるようになっている点は非常に良いと思います。もう一点ですが、現代課題として、いじめ・情報モラル・消費者教育・防災教育については、様々な教科書で取り扱っていますが、教科書によって扱う割合が違っております。東京書籍、教育出版、光村図書出版は多くのページを割いて、これらの問題

を取り扱っておりますが、学研教育みらいは少ないように感じました。

調査専門員長　いじめに関する教材につきましては、全ての教科書においてユニット形式や直接教材、間接教材などにより掲載されております。また防災につきましても震災、東日本大震災も含めまして日頃の防災意識、避難訓練等の扱った教材を各社掲載しているところでございます。

現代的な課題を扱っている教材の割合としては学研教育みらいが一番少なくなっております。

細田教育長　基礎資料としていただいているものについて見ますと、今、石田委員が指摘したとおり全体的な課題、消費者教育や防災教育については他と比較し学研教育みらいが圧倒的に少ないようです。そういった点では東京書籍、教育出版、光村図書出版はバランスよく扱っているようです。

柳田委員　私も８社読ませていただきましたが、大人の私でも考えさせられる内容でした。私は、ずっとスポーツをやっておりますが、一番大事にしているものとして、礼儀やマナーがございます。そういう観点で見ますと、教育出版では、身に付けよう礼儀、マナーという項目があり、私は良いのではないかと思います。

細田教育長　私自身が気になるところとして、先ほども申しましたが２９年度に教科書採択をし、３０年度に初めて小学校道徳という特別な教科を始める際の教科書採択において拮抗した意見が色々ございまして、結果として教育出版を選ばせていただいたところでございます。

そして先ほど、１年間各学校で使った上で調査研究結果を指導１課長より確認いたしました。また、選定委員会においては、保護者の方、学校長などを含めて議論をしているわけですが、教育出版の教科書について、学校と保護者の方等から１年間を振り返って支持されたかどうかということについて、選定委員長より報告をお願いします。

選定委員長　選定委員会では、学校からの調査研究についてしっかりと受け止めて選定をいたしました。現在使っている教育出版の道徳の教科書については、非常に多くの学校から使いやすいという意見が多数寄せられています。教科書の中で最も多い意見が寄せられたのはこの教育出版でございました。現場で実際に使った教員の意見でございますが、例えば、挿絵や文章が児童の発達段階に即している、授業の流れが道徳性を高める工夫になっている、いじめ問題に生命尊重、情報モラルの

題材を重点的に取り入れている、家庭環境に配慮した教材がある、こうした視点から他の教科書と比べて最も使いやすいという意見が多かった教科書でございます。なお、付け足しますとこの教科書で何か使いにくいという部分についての御意見は一つもなかったと申し上げたいと思います。

細田教育長　　教育委員会として教育出版の教科書を選定し、１年間使った結果、そのような意見であったことに安堵いたしました。
　他に御意見や御質問のある委員の方はいらっしゃいますか。
　特に御意見等が無ければこれで協議を終了し、採決に移りたいと思います。

細田教育長　　多くの教育委員より教育出版の支持をいただいております。また、さいたま市が掲げる、知・徳・体・コミュニケーションにおいてマナーの大切さを学ぶのに適している点、自己の生き方について考えを深めることのできる構成であること、教員が自信を持って指導でき、授業において皆で道徳について考えることができる組立てになっていること、さらに学校から最も支持されている点から、教育出版を採択するということで御異議はありませんか。

各委員　　<異議なし>

細田教育長　　それでは、道徳は教育出版を採択することとします。

生活

細田教育長　　続きまして、生活の教科書について協議検討を行います。
　調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　　生活の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された８種１６点全てについて調査研究をいたしました。
　それでは、教科書目録順に御説明いたします。
　まず、東京書籍です。内容については、育成を目指す資質・能力を重視した内容構成となっております。上巻１８ページを御覧ください。授業で「何ができるようになるか」の他、タイトル部分には「何をするのか」が分かりやすく示されており、児童が見通しをもって活動することができます。また、発問例も記載されているので、教師が指導計画を作成したり、評価したりしやすくなっております。資料については、下巻５６ページを御覧ください。多様なお

もちゃの製作方法が「おもちゃ図かん」として掲載されています。ここでは、簡潔にポイントを示した資料が豊富に掲載されており、児童の活動が広がります。また、巻末には「かつどうべんりてちょう」があり、それぞれの活動の安全上の留意点などが掲載されています。表記・表現については、上巻３９ページを御覧ください。Ａ４版と大きな紙面にすることにより、動植物が実物大で示されたり、ダイナミックな写真が掲載されたりすることで、児童の知的好奇心を刺激する表現が多く示されております。

次に、大日本図書について御説明いたします。内容については、児童の興味・関心を高め、豊富な資料等を掲載し、主体的・対話的で深い学びを重視したつくりとなっています。下巻５４ページを御覧ください。キャラクターや挿絵の色付き吹き出しや、巻末「がくしゅうどうぐばこ」に基本的な知識や技能が掲載されていて、児童自らそれらに気付き、意識して主体的に活動できるようになっております。資料については、上巻８８ページを御覧ください。写真や挿絵が豊富であり、児童の意欲を高めると共に活動への見通しがもちやすく、学習への期待感を高めることができるつくりとなっています。また、他教科との関連の他、中学年以降の学習への接続を意識した表記がなされています。表記・表現については、下巻６１ページを御覧ください。オノマトペや音地図、におい地図等を掲載し、諸感覚を活用して活動したことを多様に表現する方法を例示しています。

次に、学校図書について御説明いたします。内容については、身近な人、社会、自然との関わりにおいて多様性を前提とした課題解決能力の育成を重視した構成となっております。上巻１８ページから２１ページを御覧ください。児童の思いや願いを達成するために、自分で決定しながら問題を解決していく過程を大切にしているので、種を選んだり、植木鉢を置く場所を選んだりすることで一層責任をもって活動ができるように工夫されています。資料について先ほどと同じ１８ページをご覧ください。どの単元も左上に活動の流れが提示され、見通しをもって活動できるようになっている他、学習活動のポイントが視覚化され分かりやすくなっています。表記・表現については、下巻４０ページを御覧ください。活動の記録カードのかき方が分かりやすく示され、今後の活動の方向性を示す教師の朱書きが例示されています。

次に、教育出版について御説明いたします。内容については、児童が本来もっている能力を発揮しながら、生活科で目指す資質・能力を育むことができるようにすることを重視した構成となっています。上巻２０ページを御覧ください。全単元に「何を感じたかな」

のページが設けられており、振り返りを重視した構成となっています。自分自身の活動を見つめ直すことで、次の活動への方向性に気付き、主体的・対話的で深い学びにつながるようにしています。資料については、下巻１１７ページを御覧ください。巻末に「学びのポケット」があり、児童が活用できるようになっております。また、合科的、関連的な指導についても分かりやすく示されております。表記・表現については、下巻７０から７９ページを御覧ください。全単元のレイアウトが同じ構成になっているため、体験活動や思考・表現活動等について活動の流れが分かりやすいものとなっております。

次に、信州教育出版について御説明いたします。内容については、地域に生まれ、育つ児童が四季を通じて地域との関わり、そのよさを実感しながら学びを深める内容構成になっています。上巻４８ページを御覧ください。とりわけ中型動物の継続飼育を取り上げ、命のドラマを体験しながら、命の大切さを実感することを重視しています。資料については、上巻５２ページを御覧ください。端午の節句、七夕、月見、正月、節分など、季節の変化と関わりのある地域の行事が掲載されております。ここでは、地域の行事に込められた人々の思いや願いに触れ、地域の一員としての思いを育むことができるようにしています。表記・表現については、下巻９０ページを御覧ください。全編縦書きで表記され、ここでは中型動物を飼育した時の思いが歌と詩で表現されています。活動を通して実感できた思いを多様に表現することができるようになっています。

次に、光村図書出版について御説明いたします。内容については、生活科の時間に学んだことが児童一人ひとりの生活に根差し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となることを目指した構成となっています。上巻３６ページを御覧ください。栽培活動を通して生じた課題を解決するプロセスが発達の段階に応じて描かれ、試行錯誤しながら思考力を育むことを重視した構成となっています。また、全編を通して「ホップ・ステップ・ジャンプ」というつくりになっており、主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくりとなるよう工夫されています。資料については、下巻９８ページを御覧ください。「ひろがる　せいかつ　じてん」では、安全面の留意点や学び方等について分かりやすく紹介しています。表記・表現については、下巻８ページを御覧ください。児童の主体的・対話的な活動が生まれる教師の支援や働きかけが示されています。

次に、新興出版啓林館について御説明いたします。内容については、身近な人々、社会や自然と繰り返し関わることを重視した構成となっています。上巻２１ページを御覧ください。児童の日常生活

から単元が始まるよう工夫され、幼児教育との接続を意識した児童の「つぶやき」から活動を引き出す発問が示されております。資料については、上巻１１９ページを御覧ください。上巻、下巻共に、巻末に「がくしゅうずかん」が設けられ、安心・安全について記載されている他、学び方等が示され、児童の活動が広がるヒントとなっております。また、考えを深める時のポイントについても記載され、生活科での学びが他教科でも活用できるものとなっています。表記・表現については、下巻４５ページを御覧ください。衛生面での配慮がアイコンで分かりやすく示されております。このアイコンは、その後も度々描かれ、生き物に触れたら手を洗うことが習慣となるよう工夫されています。

最後に、日本文教出版について御説明いたします。内容については、児童の学びをつくりだすことを重視した構成となっています。上巻６ページを御覧ください。上巻巻頭に特設されている「スタートカリキュラム」のページでは、日常生活の場面ごとに写真や言葉が掲載され、小学校生活での活動の様子を分かりやすく伝えており、幼児期の教育から円滑に接続されるよう工夫されております。資料については、上巻１２６ページを御覧ください。単元ごとに設けられている「ぽけっとずかん」や巻末の「ちえとわざのたからばこ」など、知識や技能を児童が習得するための資料が豊富に載っております。表記・表現については、下巻４６ページを御覧ください。小単元のタイトルごとに、「児童の言葉」や教科書下段の「学習のめあて」が示されており、本時のねらいが明確になるよう工夫されております。また、参考資料として「ちえとわざのたからばこ」のページも活用しやすいように表記を工夫しています。

以上で、生活の説明を終了いたします。

細田教育長　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長　　種目生活について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－１の７ページを御覧ください。

推薦する発行者は、東京書籍、教育出版、光村図書出版の３種です。

東京書籍の優れている点は、児童の知的好奇心を刺激する表現が豊富な点、屋外に持ち出せる「ほんとうの大きさポケット図鑑」や巻末の「活動便利手帳」が、児童の活動を広げるヒントになっている点、通学路等の安全やマナーに関する習慣や技能の習得を図れるように、「やくそく」の文章や「てあらい」「うがい」「ちゅうい」「どうぐ」などのマークが決まった位置に示されている点などが挙げられます。

教育出版の優れている点は、小単元ごとに育てたい力を明記し、活動のめあてが分かりやすく示されており、何をどう学ぶかが分かりやすいつくりとなっている点、活動を振り返って自己評価をしたり、これからの学習を考えたりするページを設けることで、思考力を高め、次の活動への意欲をもたせるようになっている点が挙げられます。

光村図書出版の優れている点は、人や自然との関わり方や安全面での留意点などを学ぶことができるような構成の工夫がされている点、単元の扉に活動の見通しが示されており、見通しをもって学習に取り組めるように工夫がされている点、動画等の資料があるものには、その都度ＱＲコードが示されており、学習の助けとなる資料がすぐに得られるようになっている点などが挙げられます。

細田教育長　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導１課長　　それでは、生活の各学校における主な研究所見を、教科書目録順に報告いたします。

東京書籍、写真が豊富で、遊び図鑑やポケット図鑑などが使いやすい。大日本図書、児童の意欲を高めるような、写真を用いた活動の例示が豊富である。学校図書、写真やイラストが多く、児童が興味をもちやすい内容になっている。教育出版、写真やイラスト、吹き出しが効果的に配置されており、活動に即した指導ができる。信州教育出版、研究所見はございません。光村図書出版、児童のイラストのつぶやきから発想を広げることができる。新興出版社啓林館、写真やイラストの配分がよく、見やすいレイアウトである。日本文教出版、イラストや写真が豊富で、学習で使う図鑑も見やすい、などでございます。

細田教育長　　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員　　調査専門員長にお伺いしますが、光村図書出版の３６ページでホップ・ステップ・ジャンプという言葉が使われていますが、この内容について詳しい説明をお願いします。

調査専門員長　　まず導入段階であるホップで子どもの興味関心を高め、続いて子どもたちの活動が広がるようにしているのがステップでございます。ジャンプでは、それぞれが活動をしながら気づいたことをもとに、さらに自分の生活を広げていくことが出来るような構成になっております。

大谷委員　　　　　　調査専門員長に質問いたしますが、念のため現在使用している教科書を確認させてください。また、大きさと重さについて、どのような話がなされたか紹介いただきたく思います。

調査専門員長　　　　現在使われている教科書は、東京書籍でございます。
調査専門員会において、大きさや重さについて話題になりましたことについて申し上げます。大きな紙面で迫力ある写真が掲載されていることで、児童の興味関心が高まり活動への意欲が増すという点がでました。しかし、大きすぎると学校の机の中に入れた際に道具箱に入りにくくなり取扱いが難しくなるという面もあります。また、大きくなることで重量が増すと、低学年の児童の登下校の際にかかる負担が大きくなるといえます。とりわけ今回の教科書は保護者と一緒に開くことを想定して編集されており、生活科の授業がある日には児童が持ち帰りをするというふうになっております。そういったことが話題として出ました。

大谷委員　　　　　　教科書を見ると大判の教科書というのは、おっしゃる通り写真も大きく見やすさも一番良いと思いますが、中身の良さと、重さと大きさのバランスが調整可能かどうかを考えるべきと思います。

細田教育長　　　　　今、大谷委員から今使っている東京書籍はＡ４サイズで大きくて非常に見やすいというメリットと、大きさ重さのバランスについて御指摘がありましたが、他の教科書と比較してどうか、また、実際に学校で重いとか扱いにくいというような声があるのか確認をお願いいたします。

調査専門員長　　　　教科書の重さにつきましては、一番軽いものが光村図書の下巻の２５０ｇ、そして一番重いものは東京書籍の上巻の３７０ｇとなっております。また、大きさによって使い勝手が良いか悪いかということについては、現在使用している東京書籍の教科書について、とりわけ否定的な意見は出ておりませんが、今回の東京書籍の教科書は現行のものより若干大きさが大きくなっております。

指導１課長　　　　　今回採択していただく教科書につきまして、東京書籍については学校所見として厚さ重さが適切であるとそういう所見が複数寄せられております。

野上委員　　　　　　生活という教科は我々の時代には無かったものでございますので、孫の気持ちになってこれを全部読ませていただきました。

私が生活の教科書を選ぶポイントとして、学校の入り口として家庭との連携が図れていること、低学年が使用する教科書であることから児童に寄り添っていること、他の教科との連携が図られていることに着目いたしまして、東京書籍が適していると思いました。

細田教育長　　貴重な御意見をいただきました。学校生活の入口となる教科であって、小学生が学校生活を営んでいく上で家庭との連携を図れ、また、ここから他の教科へどう関連付けていくかという観点からも教科書を見たときに、今使用している東京書籍は優れているという意見でございました。

石田委員　　先ほども申し上げましたが、啓林館の上の８７ページに広がれ笑顔という演題がございますが、笑顔は非常に大事なことであると思います。

また、ＱＲコードですが、教育出版の道具を使おうというでは、ＱＲコードが使用されており、指導において大変有効であると思います。このＱＲコードを授業中に使うのは難しいでしょうか。

調査専門員長　　道具を使おうにつきましては、各御家庭において保護者のスマートフォンを使用して児童が見るほか、ＤマークにＨＰのアドレスが書かれており、ここからアクセスすることで各学校のコンピューター室で活用することが出来るようになっております。

細田教育長　　他にいかがでしょうか。特に御意見等が無ければこれで協議を終了し、採決に移りたいと思います。

委員の皆様の御意見を総合いたしますと、東京書籍の教科書はＡ４版で見やすく、また、デジタルコンテンツが充実しているほか、家庭との連携や他教科との関連性が優れている教科書であるという意見が出されているところでございますので、東京書籍を採択するということで御異議はありませんか。

各委員　　＜異議なし＞

細田教育長　　それでは、生活の教科書は、東京書籍を採択することとします。

それでは、ここで５分の休憩といたします。

英語

細田教育長　　それでは再開します。英語の教科書について協議検討を行います。

調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　英語の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された７種１５点全てについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。

初めに東京書籍です。４技能別教材数の割合は、「話す」こと「聞く」ことが、比較的バランスよく配分されております。単元の見通しをもたせた後、インプット、アウトプットが交互にスモールステップで重ねられて構成されています。５年１８ページ、上下の欄外を御覧ください。１５分程度のモジュール学習が分かりやすく別記載されております。次に資料についてです。各ページのQRコードには音声だけでなく、動画により理解が深められるようになっております。また、巻末の絵カードはミシン目が入っており、効率的な学習準備への配慮がされております。別冊のPicture Dictionaryを御覧ください。調べたい言葉がカテゴリー別に絵と単語で示されており、家庭学習、中学校での活用などにも生かせるようになっております。表記・表現については、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインを使用しております。５年９０ページの４線を御覧ください。ブルーの基線と第２線の間が他社より広めになっており、アルファベットの小文字が書きやすく、識字に困難のある児童への配慮がなされております。

次に、開隆堂出版について御説明いたします。４技能の割合は、「聞く」ことのウェイトが４４％と比較的多くなっております。６年３３ページからのProjectを御覧ください。学んだことを使って表現する単元が年間２回設けられ、学力の定着を図るようになっております。次に、６年巻頭を御覧ください。Can-Do Mapとして身について力が振り返れるようになっております。次に資料についてです。６年８１ページ「文字に慣れよう」を御覧ください。ここでは、「読むこと」「書くこと」の定着を図るようになっております。表記・表現については、６年５７ページを御覧ください。手書き文字に近いフォントを採用しております。また、４線の幅や、カラーユニバーサルデザインの配慮が他社同様されております。

次に、学校図書について御説明いたします。バランスよく４技能が配分されております。教科書１の２１ページを御覧ください。各Lessonの扉に目標と学習の進め方が記載されております。次に、５４ページを御覧ください。基礎学力の定着を繰り返し図ることを重視した学習活動が構成されております。資料についてです。１４４ページWord Listを御覧ください。言葉の検索がしやすいようカテゴリー別に絵と単語で分類されております。表記・表現では、１０１

ページを御覧ください。４線の幅は配慮されておりますが、７社の中で一番差が少なくなっております。また、文字認識しやすいフォントや色覚等に配慮した色を使用しております。

次に、三省堂について御説明いたします。「聞く」ことと「話す」ことにそれぞれ４割ずつと多めにウエイトを置いております。６年３８ページを御覧ください。各単元とも学習の見通しをもたせ、基礎内容を繰り返し行い技能の定着を図り、「JUMP」でプレゼンテーションの内容を準備するプロセスとなっております。次に資料についてです。６年巻末１０９ページを御覧ください。絵と単語がカテゴリー別に分類され、言葉を探しやすくなっております。表記・表現については、６年８７ページを御覧ください。ブルーの基線と第２線の間は他社同様配慮されております。また、手書きフォントや色覚へも配慮した色を使用しております。

次に、教育出版について御説明いたします。「聞く」ことに約４割のウエイトを置いております。６年１２ページから順に御覧ください。最初に単元全体のイメージをつかませ、繰り返しの聞く活動、書く活動を通して、Activityの伝え合う活動へと促しております。各レッスンの最後には書く活動を行い、基礎学力の定着を図っております。巻末の資料ワークシートを御覧ください。数が充実しており、パフォーマンス評価に対応しております。資料については、６年１０６ページを御覧ください。絵と言葉で分類され、検索しやすくなっております。また、絵カードやワークシートは全てミシン目が入って切りやすくなっております。表記・表現については、６年２１ページを御覧ください。専用の手書き文字フォントで視写しやすいようになっており、４線の幅、教科書の色も他社同様、配慮がされております。

次に、光村図書出版について御説明いたします。「聞く」ことに４９％と、かなり多くウエイトを置いております。５年３０ページからを御覧ください。各ユニットが場面を見ながら「聞く」活動から始まっております。次ページからは「話す」「読む」「書く」活動がスモールステップで構成されております。５年１３９ページ学びのパスポートを御覧ください。出来るようになったことをまとめ、次学年への学習意欲へとつなげております。資料については、５年巻末１１９ページ絵辞典を御覧ください。絵と言葉でわかりやすく示しております。また、水性ペンで繰り返し「書く」練習をするシートもついております。表記・表現については、５年３９ページを御覧ください。４線は基線と第２線の間は７社の中で一番広めになっております。フォントやカラーもユニバーサルデザインの配慮がされております。

最後に、啓林館について御説明いたします。「聞く」活動に６２％と大変多くウエイトを置いております。５年３２ページを御覧ください。「聞く」活動を繰り返し、インプットさせ、Activityや「書く」活動へとつなげる構成となっております。５年１２０ページCan-Do Listを御覧ください。「この２年間でできるようになること」が示されており、学習の見通しや振り返りに活かすようになっております。次に資料についてです。５年１２１ページを御覧ください。Activityに使用する絵カードは全てミシン目で切り離せるようになっております。５年６１ページを御覧ください。アルファベットには活字体と書き文字との差異を生じない書体を独自に開発し、４線幅も他社同様の配慮をしております。
以上で、英語の説明を終了いたします。

細田教育長　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長　種目英語について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－１の１２ページを御覧ください。
推薦する発行者は、東京書籍、三省堂、新興出版社啓林館の３種です。
東京書籍の優れている点は、単元のはじめにGoalが示され、学習のめあてがわかりやすいように構成されている点、自国と外国の文化との比較を取り上げているコーナーや各国の動画が見られるＱＲコードなどで、外国の文化に対する理解を深めることができる点などが挙げられます。
三省堂の優れている点は、HOP、STEP、JUMPという構成で、学びの見通しを立ててから、表現を身に付けるコミュニケーション活動、プレゼンテーション活動と学びを定着させるような流れの工夫がされている点、レッスンで学んだ内容の確認とこれからの目標をたてるようなふりかえりが設定されている点などが挙げられます。
新興出版社啓林館の優れている点は、各ユニットの扉や各パートの始めにめあてを明示し、学習内容、指導内容を明確にして学習が進められるよう工夫されている点、各ユニットにアルファベットの読み書きの活動が設定され、スモールステップで文字を書くことに慣れ親しむことができるよう工夫がされている点などが挙げられます。

細田教育長　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導１課長　　それでは、英語の各学校における主な研究所見を、教科書目録順に報告いたします。

東京書籍、学習の流れやねらい、段階が明確で分かりやすい。開隆堂、スモールステップで繰り返し学習することができ、イラストや色遣いがよい。学校図書、学習内容が分かりやすく、見通しをもって学習することができる。三省堂、活動内容が HOP STEP JUMP の構成で表され、学習の流れが分かりやすい。教育出版、写真やイラストが整理されており、バランス配分がよく、紙面が見やすい。光村図書出版、各単元のめあてが明確に示されており、児童が見通しをもって学習に取り組むことができる。新興出版社啓林館、各ユニットの構成が分かりやすく、振り返りがあり指導がしやすい、などでございます。

なお、各学校の研究所見の概要につきましては、資料Ｃ－１、１７ページから１８ページにまとめておりますので御覧ください。

細田教育長　　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

大谷委員　　私の方からは質問と私自身の考えを申します。

まず１点目ですが、調査専門員会において、東京書籍の Picture Dictionary の評価と教育出版の My favorite Place の活用方法についてお尋ねいたします。

次に４線の幅についてですが、私が英語の勉強を始めた時代は幅が同じだったように記憶していますが、書きやすいように配慮をしたものと思われますが、幅を広く設定している教科書があるようです。将来のことを考えると、あまり幅を広くするのはどうかと考えておりますので、各教科書の４線の幅について教えてください。

次は、私の意見でございますが、責任者としてオーストラリアの学校へ２０名前後の生徒を引率したことがございます。私も責任者としてホテルを使うのは不公平だと思い、先方の教頭先生のお宅へ１０日程ホームステイしました。そこでは夕飯の後になりますと、会話の時間がありまして、相手の言っていることが良く理解できませんでしたが、文字にしてもらうと理解することが出来ました。つまり、英語を聞き取る耳がだめなのです。４技能の適正なバランスというのはあるとは思いますが、この経験から特に小学校という英語の入門期であるということを考慮して「聞く」比率が高い教科書がよろしいのではないかというふうに考えております。

調査専門員長　　それでは今いただきました御質問について答えいたします。

まず、東京書籍の Picture Dictionary につきましては、調査専門員会で大変評価が高かったように思います。というのは、普段から授

業をしている中で子どもたちの聞く活動、話す活動を行った上で、最後に教わったキーワードを自分なりに自分の言いたい言葉に言い換えて表現をしていくアクティビティを行うわけですが、その際、担任などに児童が自己表現をするために英単語を聞きにきます。そのようなときに、この携帯できるピクチャーカードが子どもたちの手元にありましたら、自発的にこの絵から自ら調べていくことができます。普通の辞書のように文字だけで並んでいるのではなく、カテゴリー別に絵で示されているというところが小学校の発達段階には大変合っていることに加え、これを家庭に持ち帰り発展的な学習にも使えるなど非常に有効的な活用ができるのではないかということで評価が高かったように思います。また、教育出版のMy favorite Placeについては、教科書２８、２９ページの単元に基づいてこれを切り取って使うようになっており、自分たちの街をお友達や外国の方に伝える方法について、絵や簡単な二行ぐらいの文章で表現するという活用方法となっております。

次に、４線の幅についてですが、各教科書を見比べしますと、最も広いのが光村図書の１．７倍、最も狭いのが学校図書の１．２倍となっております。これは、子どもたちが小文字を書きやすいよう配慮したためと思われます。もっとも、他国の文化的なもの対してどうなのかという点について調査しましたところ、東京書籍に「４線の幅について。英語圏では４線の幅に決まりはなく日本の従来型の同一幅のものよりも書きやすさを重視した幅広いものの方が一般的である」ということが書かれておりました。また、東京書籍の５年３６ページを御覧ください。こちらには４線の幅の違いについて、大文字の縦線・横線の交点の位置が、幅の広い第二線に合わせるとバランスが悪いため、その点線より少し下に交点をもってくると良いということを教えております。また、その下には、日本の一般的な駅名や広域避難場所の文字が書かれておりますが、これをよく見ますと小文字が大文字の二分の一の高さよりもすべて高くなっております。このことを踏まえますと、小学校向けの教科書だから幅を広くしているというよりは、すでに基線から第二線までの幅を広めに取った文字が世の中で使われており、各社の４線の幅の工夫というものは他国の文化の尊重という点においても問題はないかと思われます。

次に、聞くということについてですが、こちらは以前の子どもの頃の英語の学習ではほとんどがアメリカ英語、イギリス英語が中心のリスニングが多かった訳ですが、現在のグローバル的な視点では、例えばオーストラリアであれば多少発音が違っていることがありますので、耳慣れをする必要があるということは非常に感じてはいますし、文科省のワーキングにおいても話題になっているようです。たくさん

のインプットがなければ発信するアウトプットに繋がらないであろういう御意見もあり、各社とも聞く活動への教材の割合が多いのかと思いますが、子どもたちの発達段階を考えますと受け身だけの授業、活動が長いと飽きてしまうということがあるかと思います。そして何よりも本市の中学校の学力テストの成果をみますと、さいたま市のグローバル・スタディが、これまでの適度なインプットと話す活動を上手に組み合わせてきた成果ではないかというふうに感じております。

細田教育長

他にも御意見あると思いますが、私も３０年以上、英語の教員として教壇に立ち、また、英語教育の指導主事として仕事をしてきたというところもございまして、私の考えを述べさせていただきます。

初の小学校における英語の教科書を採択ということで大変注目があり、私自身も各社がどんな教科書を用意するのか、わくわくしながら丹念に見させていただきましたが、どの出版社も非常に力が入っています。ビックリするくらい良い教科書を御用意いただいたなということが第一の感想で、各社甲乙つけがたい非常に良い出来だと思います。その中で、本市は大変嬉しいことに中学校３年生の英語の全国学力学習調査において、各自治体の中で一番力があるという結果となり、本当に子どもたちは頑張っていると感じています。ただ子どもたちが頑張ってきた背景には、教育委員会事務局を中心としてシステムをよく作ってくれているというふうにも思っております。御案内の通り、グローバル・スタディは平成２８年度より、小学校１年生から国に先駆けて実施しておるところでございまして、今回の全国学力学習調査の結果は本市のこのグローバル・スタディの取組であるということは間違いないというふうに思います。本市のグローバル・スタディの取組みを踏まえ、初めて選ぶ検定教科書とどのように整合を図っていくか、そしてこれまで培ってきた子どもたちの日本一の英語力をどのように発展させていくかという着眼点で英語の専門家の端くれとして教科書を見させていただきました。

その中で、先ほど調査専門員長からもお話がありましたように東京書籍のPicture Dictionaryは魅力的でしたが、これはあくまでもおまけであり、教科書本体から考えますと、啓林館の教科書は、私が授業をするとなると非常に使い勝手が良いと言いますか、１時間１時間の授業を発展的に考えることが出来るなというように感じました。と申しますのは、先ほど調査専門員長からリスニングのウエイトが大きいと説明あり、確かに言語教材としてはリスニングの教材が多いのですが、建付けは実は違うというふうに思いました。リスニングの言語教材はふんだんにあり、それをどう発展させるかという点において非常に良く出来ているというふうに思っております。基礎基本から応用

活用まで育んでいける建付けになっている点、それから私が非常に他の教科書に無い点と思ったのが、６年生の後半、つまり小学校英語の完成に当たる部分であり中学校へのブリッジとなるわけですが、ユニットファイブ、セブン、エイトで４技能５領域の中で小学校英語としてはレベルの高い読み取りと、そしてそれを書くことへ発展させる、そういった素地を意識した活動を設定している点は優れているなと思いました。それからもう一つは、各ユニットのパートの終わりに必ずアクティビティがありまして、このアクティビティを私だったらどう使うかなというふうに考えたときに、インタラクティブなやり取りができる教材がふんだんに用意されている点で、私がグローバル・スタディの授業をやるとしたらこんな展開にしようということが楽しく空想できるような建付けになっておりました。ただ甲乙つけがたく、どの教科書も非常に工夫があっておもしろい作りになっております。

武田委員

私から３点ほど重要な順番に申し上げます。

一番大事なことといたしましては、教科書の持つ情報量の妥当さという観点でございます。児童の習熟度の幅に対応が可能であり、また教員の工夫の余地が大きく、組み合わせ発展をすることができるものを考えると、提供されている情報量自体が多すぎる場合には、そのような融通が利かせにくいということがあるように思います。適度な量をもとにして、英語の授業を生きたコミュニケーションにしていくためには、特に小学校の英語の授業の主役は先生と児童ですので、見開きで字や絵が溢れているような印象を与えてしまいますと児童が圧倒されてしまい、子どもにとって負担感が大きく、また教員にとっても教科書に振り回されてしまうことを懸念いたします。ですから両者に達成感を感じさせるためには、なるべくシンプルであることが大きな観点として必要かと思います。そういう意味で、見やすさや使いやすさということで考えますと、三省堂、教育出版、啓林館この辺りが良いのではないかと思います。伸ばしこぼしを無くすためには、学校によっては情報量が多い教科書が良い場合もあるかとは思いますが、やはり下の欄外が充実しすぎていますと煩雑な印象を与え、あるいは情報量をたくさん入れるために字が小学校には小さくないだろうか、詰め込み過ぎているようなそういう印象があるものというのは、全部の学校で使いやすいというのには難があるのかと思います。

二点目ですが、教科書の巻頭にある各社のビジョンの部分でございます。英語教育というのは国際教育であり、世界には多様な外国語が溢れていて、その中の一つとして私たちは英語をやるということとか、あるいは身近な生活の中で色々英語が溢れそういうものに目をと

める、そのようなグローバルな視点、生活の視点でモチベーションやビジョンを子どもに与える作りに各社なっていると思いますが、その観点が強いのが三省堂、教育出版と思います。啓林館は最初が目次となっており、そのようなビジョンが無い形式となっていますので、もし啓林館を使うような場合には、現場の先生にそうしたビジョンについては最初に御指導願いたいなと思います。

それから三点目は、先ほどから出ております罫線の問題です。これは英文学者としては実は大きい問題だと思っています。元々、五世紀頃から英語の文字というのは、基線の幅が等間隔であるということを前提にしてアンシャル体から始まってゴシックですとかイタリックだとか色々な字体があり、それはやはり幅が均等であるということを基本にして発展しているという点がありますので、それを変えてしまうというのは他国の歴史文化の尊重の観点からはどうかと思っておりました。文字はカリグラフィー的には上のゾーン、真ん中のゾーン、下のゾーンという分け方をするのですが、先ほどの御説明で真ん中のゾーンが広い字体が現実に溢れており問題はないと言い切っておられましたが、実はここにも問題がありまして、情報提供として申し上げますと英語にはグラフォロジーという筆跡学というものがございまして、ミドルゾーンが広い人間というのは物事を深く考えず、また社会のことも考えないで目先のことしか考えないという性格判断になるようです。ですから日本の教育がそのような方向にいかなければいいと思いつつ、子どもたちが書きやすいようにということはもちろん分かりますが、教科書として正しい書き方がこの罫線かというと違いますので、教える先生方の教養としてはこの点もしっかりと踏まえていただきたいと思います。

野上委員

全く違った観点ですが、一番海外へ行って困るのが、大谷委員もおっしゃっていた「聞く」ことでございます。その点ですね、さいたま市の教育でびっくりしたことがございまして、私が訪問した小学校の２年生の子がHave a nice dayと話しかけてきたことがありました。その子は普通の授業では落ち着きがないようですが、英語の時間には外国の先生がそばに付いており、その時には席へ座ってしっかりと授業に参加し英語が好きな教科となっているとのことでした。先ほどより話題となっている「聞く」部分の各教科書の割合を見ますと、３割、から６割となっており、やはり小学校であれば馴染むという点で聞くところに重点をおいた教科書が良いのではないかと思います。

石田委員

私も英語の専門家ではございませんが、まず表紙ですが、啓林館だけ写真となっており、個人的に漫画があまり好きではないので啓林館

が良いかなと感じました。また、聞く活動、話す活動が各ユニットで分かりやすいのが啓林館と思っておりますので、私は啓林館が良いかと思っております。

柳田委員　　私はスポーツをやっており海外には数か国行ったことがありますが、先ほど大谷委員、野上委員がおっしゃったように、聞く能力は本当に大事であると思っております。海外に何回か行くと英語に慣れ心に余裕が持つことができ、聞いて慣れ親しむっていうところを大切にしていきたいなと思っておりまして、聞くことが多い教科書を選びたいと思います。

細田教育長　　言語教材のウエイトと、言語教材をその教科書の建付けによりどのように料理するかは別の問題だと考えております。私は先ほど、どの教科書も甲乙つけがたく、東京書籍のPicture Dictionaryも魅力的で、三省堂の建付けも魅力的ではありますが、私が授業をやる場合にリスニングの教材をどうやって発展させるか膨らませることができ、グローバル・スタディから検定教科書へ繋ぎやすいという点で、私だったら最も良いのが啓林館だと思ったところございます。ですから調査専門員の調査研究結果というのは、あくまでもここにあります教材のウエイトであるということを一言だけ申し添えさせていただきたいというふうに思います。

大谷委員　　調査専門員長は教材の配分のバランスが適切なものが良いという説明をされていたように思いますが、授業では教科書が教えるのでは無く、教科書を教員の工夫によって教えるものと考えておりますので、聞く割合が高い教科書であっても教える教員の創意工夫によってカバーできるということを調査専門員長に確認したいと思います。

調査専門員長　　英語をたくさん聞くということとともに、教員の指導技術が大変重要であると認識しております。

細田教育長　　ほかに御意見等はございませんか。
それでは皆様の御意見を集約させていただきますと、啓林館の教科書を推す意見が複数ございました。また、三省堂や教育出版につきましては情報量が適切であり、そこから英語の授業を展開することができるという意見もございましたが、全体の意見としましては、啓林館の教科書を推す意見が多いところでございますので、新興出版啓林館を採択するということで御異議はありませんか。

委員各位　　　　　　＜異議なし＞

細田教育長　　　　　　それでは、英語の教科書は、新興出版啓林館を採択することとします。

国語

細田教育長　　　　　　続きまして、国語の教科書について協議検討を行います。
調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　　　　　国語の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された４種４４点全てについて調査研究をいたしました。
それでは、教科書目録順に御説明いたします。
まず、東京書籍です。内容については、５年１５８ページを御覧ください。各単元で、導入部を「つかむ」、終末部を「振り返る」とした課題解決的な構成になっております。導入部では学習の見通しを示すとともに、児童キャラクターを活用し、言語活動におけるメモや児童の会話など、学習過程における児童の思考を視覚化するなどの工夫がされております。続いて、５年９０ページから９５ページを御覧ください。表紙写真や案内文で多くの書籍を紹介するとともに、著名人の読書体験を取り上げることで、児童の読書への関心を高める工夫がされております。資料については、５年２７２ページから２７９ページを御覧ください。巻末付録として、「学習で使う言葉」や「言葉の広場」、「前の学年で学習した言葉の力」などが収録されております。あわせて、補充・発展的な学習のための教材も収録されております。表記・表現については、１年下巻１０２ページを御覧ください。５行ごとの行数字に加えて１行ごとのドットを付すことで、児童が行を見つけやすくなる工夫がされております。
次に、学校図書について御説明いたします。内容については、５年上巻６０ページを御覧ください。単元名とめあてを明確に示し、「つかむ」「見方や考え方を学ぶ」「まとめる・ふり返る」「広げる」という学習過程につなげています。「話す・聞く」「書く」単元の導入部では、このように「学習の見通しをもとう」というコーナーも設けられております。続いて、５年下巻４７ページを御覧ください。「この本読みたいな」で、学習した教材文に関連した本をとりあげたり、「読書の部屋」において表紙写真を掲載して多くの書籍を紹介したりするなど、児童の読書習慣の形成を図る工夫がされております。資料については、５年下巻１２６ページからを御覧

ください。資料編として、「授業で使う言葉」「国語のカギ」「読書の部屋」など、言語についての知識・技能の習得につながる多くの資料が収録されております。表記・表現については、１年下巻１１ページを御覧ください。囲みや罫線の使用、吹き出しの着色など、学習のポイントとなる部分が分かりやすくなる工夫がされております。

次に、教育出版について御説明いたします。内容については、５年上巻２８・２９ページを御覧ください。「たしかめよう」「考えよう」「深めよう」「広げよう」という学習過程が見開きページで示されており、伝え合う力を高めながら思考、表現できる工夫がされております。また、「読む」単元では、「言葉を学ぼう」「言葉をふやそう」のコーナーが設けられ、語彙拡充の工夫がされております。続いて、５年上巻１０５ページを御覧ください。「本を読もう」では、教材文や作者に関連した本をとりあげたり、付録の「５年生で読みたい本」で表紙写真と紹介文を掲載し多くの書籍を紹介したりするなど、児童の読書習慣の形成を図る工夫がされております。資料については、５年下巻１５８ページ、１５９ページを御覧ください。付録として、「言葉の木」「言葉のまとめ」など、児童の語彙の質的・量的な充実につながる多くの資料が収録されております。表記・表現については、３年上巻１０２ページを御覧ください。写真や絵、図や表などを多く用いて、学習内容をつかみやすくする工夫がされております。

最後に、光村図書出版について御説明いたします。内容については、５年１２０ページを御覧ください。単元で付けたい力、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」という学習過程、振り返りの視点が見開きでまとめられており、児童が見通しをもって学習できる工夫がされております。また、「たいせつ」（１２２ページ）の中の「いかそう」では、身に付けた力を他教科や生活にどう生かすかの例が示されております。続いて、５年１７１ページを御覧ください。「この本、読もう」では単元で学習したことと関連した本を豊富に掲載したり、巻末の「本の世界を広げよう」で表紙写真と案内文で多くの書籍を取り上げたりするなど、読書を日常的に広げる工夫がされております。資料については、５年２４２ページから２４９ページを御覧ください。巻末付録として、「たいせつ」のまとめ、「課題の見つけ方、調べ方」「考えを図で表そう」など、身に付けたい言葉の力や他教科の学びとの関連につながる豊富な資料が収録されております。表記・表現については、１年下巻３４ページを御覧ください。資料が多いページについては、吹き出しの活用やレイアウトの工夫などで見やすくする工夫が

されております。
　以上で、国語の説明を終了いたします。

細田教育長　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長　　種目国語について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－１の１ページを御覧ください。
　推薦する発行者は、教育出版、光村図書出版の２種です。
　教育出版の優れている点は、単元の学習過程が詳しく示されており、児童が見通しをもって主体的に学ぶことができるように工夫されている点、単元を通して学習する内容や考える視点などが明確に示されており、何を学ぶのか、何のために学ぶのかが、指導者にとっても学習者にとっても分かりやすくなっている点などが挙げられます。
　光村図書出版の優れている点は、単元で付けたい力、学習過程、振り返りの視点が見開きページで分かりやすくまとめられており、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるように工夫されている点、世代を超えて読み継がれてきた物語が教材文として取り上げられており、児童の学習意欲を高めることにつながる点などが挙げられます。

細田教育長　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導１課長　　それでは、国語の各学校における主な研究所見を、教科書目録順に報告いたします。
　東京書籍、学習過程が各単元共通で示され、付けたい力が明確にされている。学校図書、児童がめあてや活動をつかみやすく、見通しをもって学習ができる。教育出版、単元目標、学習活動、学習のポイントが分かりやすく示されている。光村図書出版、教科書に掲載されている教材文、物語の内容がよい、などでございます。
　なお、各学校の研究所見の概要につきましては、資料Ｃ－１、１ページから２ページにまとめておりますので御覧ください。

細田教育長　　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員　　新聞の活用について、東京書籍は１０ページ、教育出版は６ページ、三村は４ページにそれぞれ掲載されておりますが、私が見る限りでは教育出版の内容が一番見やすく分かりやすくまとめてあるように思

います。調査専門員長の意見としてはどうですか。

調査専門員長　　新聞については、中学年の書くことの子どもが表現する方向の例として新聞が、そして高学年では新聞を活用して情報を得るということで、４年生と５年生で扱われております。見やすさという点については各社それぞれメリット、デメリットがあるかと思います。取り上げられている項目につきましては記事の書き出しや見出しのつけ方、それから写真の効果などこれは４社とも同じような形で取り上げられているように研究しております。

武田委員　　私からは教材の中身について一言申し上げたいと思います。私は、現在、教育学部で働いており、グローバル時代の英語教育という中で国語教育と英語教育をどのように行うべきか国語の先生方と勉強させていただいているところでございます。そのような観点で申しますと、今回の教育出版の各学年の取り上げられている題材は、時代に対応しているように感じております。例えば２年の下巻にマザーグースの歌の翻訳、４年の上巻の落語、４年の下巻には劇、５年生の外来語についての囲み記事、そして６年生になりますと翻訳家と、地球規模で言葉を使うということを踏まえた上で国語教育という視点が全体的に見渡せるかなというのがあります。また、３年生の下巻に見沼通船堀の話などもあり、暮らしへの視点ということでもバランスよく掲載されていることから、様々な視点が開かれていくという意味においても教科横断的な言葉への関心を育むという点で教育出版の教材は良いように感じました。

石田委員　　武田委員が言ったように物語小説は教育出版が良いのですが、残念なことに日野原重明先生のものが掲載されているのは東京書籍なのです。

大谷委員　　調査専門員会での意見を御紹介いただければ幸いでございますが、私は高学年の場合は分冊の方が軽くていいように思います。もちろん内容が優先しますが、確か光村図書は１冊ですね。それから武田委員からお話がありましたけれども、やはり郷土の教材というのも扱っていただきたい。それと教育出版は言葉というものについては非常に意を用いており非常に良いように感じました。

調査専門員長　　一点目の分冊化、合冊化というところは調査専門員会でも話題になりました。今回、東京書籍と光村図書の２社が合冊、学校図書、教育出版の２社が分冊という形をとっています。それぞれメリットデメリ

ットがあるということで意見が出ましたが、合冊になっている良さとしては１年間の見渡しが手元でできるということ、中学校への接続である高学年のものであるというメリットが出されました。一方、重さとしては２倍になっておりますので、その点は分冊の良さがあるほか、分冊の方でも目次に上巻に下巻のラインナップが出されており見通しが持てるように工夫がなされているということは話題になりました。

また郷土の資料という点では、調査専門員会でも教育出版の３年生の説明文、下巻の８３ページのところで見沼通船堀が取り上げられているほか、光村図書の４年生上巻には、さいたま市をホームタウンとする浦和レッズの写真が取り上げられているということが話題となったことを御報告させていただきます。

野上委員　　一つ私がこういう指導方法について疑問に感じた箇所として、光村図書の６年生に帰り道という題材が１８ページに載っております。この文そのものは素晴らしい読み物で感激もいたしますが、私が問題に感じたのは、３０ページに視点の違いに着目して感想を書きなさいというところがあり、これは誘導じゃないかと思いました。

また、今、企業でも問題となっている読解力の向上について、私は教育出版のここが大事というコーナーの組立てが良いように思います。

細田教育長　　他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。ただいまの委員の皆様の御意見、議論の中では、皆様が一致して、教材が優れているということで教育出版を推す意見でございましたので、教育出版を採択するということで御異議はありませんか。

委員各位　　＜異議なし＞

細田教育長　　それでは、国語の教科書は、教育出版を採択することとします。

書写

細田教育長　　続きまして、書写の教科書について協議検討を行います。

調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　　書写の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された５種３０点全てについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。

まず東京書籍です。内容については、正しく整った文字を書くために必要な知識・技能を「書写のかぎ」と名付け、何を学ぶのかを明確にしています。４年生の１６ページを御覧ください。毛筆教材の学習をスムーズにするために、硬筆教材が設けられております。また、毛筆で学習した後にも「生かそう」で実際に書き込んで練習ができるように硬筆教材が設けられています。資料については、１，２年生に水書用紙がついています。２年生の１４ページを御覧ください。「いろいろな道具を使って書いてみよう」で水をつけた絵筆などを使って点画の書き方を確かめられるようになっています。表記・表現については、５年生８ページを御覧ください。全学年統一されたキャラクターが学習のポイントを吹き出しで示していたり、運筆を擬音語で示したり、始筆の穂先の形に顔を描いたりして児童が学習に親しめるように工夫されています。また、利き手に関わらず、教材文字が見えやすいように書き込み欄を左右両方に書き込めるようにしています。

次に、学校図書について御説明いたします。内容については、児童が学習の中で「何を学ぶか」を意識し、書写の技能を身に付けるために単元の最初に学習目標を示しています。４年生の２５ページを御覧ください。身に付いたことが実感できるように、名前や身近な事柄を書き自分の書いた文字と向き合いふり返ることができるようになっています。また、文字の大きさの感覚がつかみやすいよう、半紙の原寸大のお手本が多く掲載されています。資料については、２年生の巻頭ページを御覧ください。生活の中でも意識的に正しい姿勢や筆記具の持ち方が定着するよう、大きな写真やイラストで詳しく解説しています。また低学年は、大事なところ、気を付けたいところにシールを貼ることができるようになっています。表記・表現については、６年生２６ページを御覧ください。身に付けさせたい技能について、色を付けて目立つようにしています。また、全学年統一されたキャラクターが、児童の立場からの疑問や気づきを示しています。教科書の文字と練習用の書き込み欄は、縦に配列し、利き手を問わず、教科書の文字が隠れないように配慮されています。

次に、教育出版について御説明いたします。内容については、学習の成果が分かるように、学習の始めと終わりに「ためし書き」と「まとめ書き」の欄が設けられています。４年生の２１ページを御覧ください。児童が、主体的な学習ができるように、３年生以上の「考えよう」では学習のポイントを自分で考え、「ここが大切」では学習のポイントを詳しく解説しています。低学年では、合言葉「こしぴん　あしぺた　ぐうひとつ」を唱えることによって、楽しみながらよい姿勢、鉛筆の持ち方を定着できるようになっています。資料については、１

年生に水書用紙が付いており、使い方の説明がなされています。６年生巻頭ページを御覧ください。「文字の旅」では、埼玉県の稲荷山古墳から見つかった鉄剣の資料が掲載されています。表記・表現については、３年生の２５ページを御覧ください。筆圧や運筆を共通の音声「とん」「すうっ」「ぴたっ」で表し運筆のリズムを体感できるようになっています。また、「めあて」と「振り返ろう」が同じ色で表記されており、対応させて自己評価がしやすくなっています。

次に、光村図書出版について御説明いたします。内容については、学習の進め方として「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の学習過程を明記しています。４年生の１４ページを御覧ください。双葉マークの「たいせつ」に学習のポイントがまとめられており、「ふり返ろう」で自己評価ができるようにしています。また、指導事項がおさえやすいように、点画の種類を書き込むことができるようになっています。資料については、１年生に水書用紙がついています。３年生の巻頭ページを御覧ください。「たしかめようシール」が付いていて、始筆、送筆、終筆を教科書に貼って、運筆を確かめながら学習できるようになっています。２年生で毛筆、６年生で行書が示されるなど、次学年での学習につながる資料が掲載されています。表記・表現については、３年生の２２ページを御覧ください。運筆を動物の動きや擬態語で示し、児童に親しみやすくしています。また、単元名・教材名や「たいせつ」には読みやすさと、見やすさを追究したＵＤ書体を用いています。

最後に、日本文教出版について御説明いたします。内容については、「書写学習の進め方」が示してあり、「試し書きをする」「考える」「たしかめる」「まとめ書きをする」「いかす」「ふり返る」の順で学習ができるようにしています。４年生の１４ページ、１７ページを御覧ください。「どんな力がついたか」を認識できるように「めあて」と「できたかな」を設定し、自ら学習の達成感を味わえるようにしています。資料については１、２年生に水書シートが付いています。６年生１６ページを御覧ください。「平仮名と片仮名ができるまで」では、埼玉県稲荷山古墳から出土した鉄剣の資料が掲載されています。また、様々な筆記用具を写真付きで分かりやすく紹介しています。表記・表現については、２年生１８ページを御覧ください。「カエル」「カメ」「イカ」とキャラクターを全学年統一し、児童が親しみやすい構成になっています。また、パンダのキャラクターが、学習のポイントを吹き出しで示しています。

以上で、書写の説明を終了いたします。

細田教育長　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願い

します。

選定委員長　　種目書写について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－１の２ページを御覧ください。
推薦する発行者は、教育出版、光村図書出版の２種です。
教育出版の優れている点は、児童が主体的な学習ができるように、「考えよう」では学習のポイントを自分で考え、「ここが大切」で学習のポイントを詳しく解説している点です。また、筆圧や運筆を共通の音声「とん」「すうっ」「ぴたっ」で表し運筆のリズムを体感できるようになっている点などが挙げられます。
光村図書出版の優れている点は、学習の進め方として「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の学習過程を明記しており、双葉マークの「たいせつ」に学習のポイントがまとめられ、「ふり返ろう」で自己評価ができるようになっている点です。また、毛筆教材と硬筆教材のバランスがよい点などが挙げられます。

細田教育長　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導１課長　　それでは、書写の各学校における主な研究所見を、教科書目録順に報告いたします。
東京書籍、「書写のかぎ」で学習のめあての確認ができ、空欄を埋めることで学習内容を振り返ることができる。学校図書、毛筆のお手本が、原寸大の半紙の大きさに合わせてある。教育出版、単元の目標、単元を通した学習活動、学習のポイントが分かりやすく示されている。光村図書出版、穂先の向きや、送筆を確認するシールが効果的である。日本文教出版、書き込み欄が多く、筆の動きを穂先の図で示している、などでございます。
なお、各学校の研究所見の概要につきましては、資料Ｃ－１、３ページから４ページにまとめておりますので御覧ください。

細田教育長　　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員　　中学校の書写の教科書採択でも話題となりました手本についてですが、小学校と中学校は同じ形式である方が良いと思います。
また、各教科の学習内容を日常生活に生かすことができることが大変大切だと思っております。教育出版の３０ページには委員会のポスター作りが載っているなど、教育出版の内容が日常生活との繋がりが多いように感じましたので、教育出版を推薦します。

武田委員　　光村図書の教科書には猫がよく出てきますが、少し気が散るように思います。また、光村図書の教科書には、特に３年生において、確かめようシールというものがあり、子どもが書写に親しみを持ってもらうのには有効なのかと思いますが、シールを貼り込むのは親として抵抗を感じるところもございますので、これは実際に今の時代に書写を指導なさっている現場でどのようにお考えなのか確認させていただきたいと思います。

調査専門員長　　調査専門員会では、このようなシールを使うような学びについては工夫として楽しく学びに向かう姿勢の一部を担うことが期待できるという意見が出ました。一方で、シールを貼る作業に時間がかかる、あるいはそのシールは時間がたつと剥がれ、学びの跡が分からなくなってしまうという心配の声もございました。

大谷委員　　何点か私の意見を申し上げたいと思います。今、石田委員からありましたように、お手本は私個人とすると右ページにあった方が良いように思っております。次に、教育出版では日本文学の古典を書くという教材が提供されるなど、他教科との連携という観点からも良いことだと感じました。また、教科書に様々な補助線が適切に配置されていた方が書きやすいように思いました。

これらを総合いたしますと、教育出版の教科書が良いと思います。

野上委員　　書写の役割について考えますと、例えば日本文教出版の６年生の教科書の１６ページに稲荷山古墳群の教材がございまして、ここで私が注目したのが日本の文字には、ひらがな、カタカナ、漢字があり、それぞれ、目的に応じて使用することを書写でも教えるべきと思いました。次に、４０ページにはエアメールの取り扱いについて記載があり、さいたま市の国際教育の展開を考慮するとこのような教材は有効であると思います。また、３８、３９ページに記載のある手紙の書き方では、経済界でも度々話題となる目的に合わせた字の書き方について文教出版は取り上げており、これも書写の役割であるように思いました。

柳田委員　　一点質問ですが、書き方の手本の配置については、他の教科書がほぼ左に統一されているところ、教育出版は左右両方にあるようですが、この理由について教えていただきたいと思います。

調査専門員長　　教育出版と光村図書出版については、左右両方にお手本がありま

す。小学校の場合ですと光村図書出版の最初のところに１２８倍に拡大してお使いくださいというような案内が付いている通り、教科書自体を使うというより、学習する文字を拡大してそれを児童に配って、それを手本として使う場面が多いように思いますので、右にあっても左にあっても特に授業に大きな支障はないと聞いております。

細田教育長　　他に御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。

ただいまの委員の皆様の御意見では、教育出版が、日常生活との繋がりとの観点において優れていること、古典を教材として取り扱っており他教科との関連でも有効であるなどの御意見がございましたので、教育出版を採択するということで御異議はありませんか。

委員各位　　＜異議なし＞

細田教育長　　それでは、書写の教科書は、教育出版を採択することとします。

それでは、暫時休憩といたします。再開は午後１時といたします。

社会

細田教育長　　それでは再開します。社会の教科書について協議検討を行います。

調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　　社会の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された３種１４点全てについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。

まず東京書籍です。内容については３年生１８ページを御覧ください。小学校学習指導要領に示された「社会的な見方・考え方」を働かせるための３つの視点と考え方について、キャラクターを目印とした囲みで示すことで、「空間」「時間」「相互関係」に着目した学習場面が設定されるよう工夫されております。また、学習問題に続いて「学習問題について予想しよう」「学習計画を立てよう」を示すことにより、児童が見通しをもって学習に取り組めるように配慮されております。資料については、６年政治編３４ページを御覧ください。「子育て支援の願いを実現する政治」として、川口市が事例地として取り上げられており、さいたま市の児童にとっても身近な地域と政治の働きを結び付けながら学習を進められます。また、掲載されている全ての資料には１から番号が振られており、児童が活用しやすいように工夫されています。表記・表現について

は、５年生上巻２４、２５ページを御覧ください。「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習過程を色分けして示すことで、問題解決的な学習の過程が視覚的にも捉えやすくなっております。

次に、教育出版について御説明いたします。内容については、６年生８５ページを御覧ください。学びの連続性を意識した「次につなげよう」が示され、児童の思考の流れに沿った問題解決的な学習が展開できるように工夫されております。また、「まとめる」や「つなげる」、「ひろげる」では、学習内容をもとに、話し合う場面が設定され、社会の一員として自分にできることは何かを追究するとともに、新たな問いを見いだせるように工夫されております。資料については、４年１３２から１５３ページを御覧ください。「昔から今へと続くまちづくり」として、見沼代用水と井沢弥惣兵衛が事例として取り上げられており、さいたま市の児童にとっても身近な史跡や施設などを生活経験とも結び付けながら学習することができます。また、掲載されている全ての資料にはアから順に記号が振られており、児童が活用しやすいように工夫されています。表記・表現については、５年生１０９ページを御覧ください。見開きページで概ね１単位時間の構成となっており、「この時間の問い」や単元の学習問題などがどの単元でも同じ位置に記されていることで、学習内容が視覚的に捉えやすくなっております。

最後に、日本文教出版について御説明いたします。内容については、３年生１１５ページを御覧ください。単元の特性に合わせて「学習問題」と「さらに考えたい問題」が設けられている事例があり、児童が自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるように配慮されております。また、学習問題に続けて「学習の計画」で調べることや調べ方、まとめ方などが示されており、児童が見通しをもって問題解決的な学習に取り組めるように工夫されております。資料については、３年１２４から１５３ページを御覧ください。「市のようすとくらしのうつりかわり」として、川越市が事例地として取り上げられており、さいたま市の児童にとっても身近な地域を参考としながら学習が進められます。また、掲載されている全ての資料には、①から順に番号が振られており、児童が活用しやすいように工夫されています。表記・表現については、５年生９２、９３ページを御覧ください。見開きページの外側には、その単元を学ぶうえで不可欠な社会科用語を「キーワード」として示すとともに、文章だけでなくイラスト等も合わせて記載することで、視覚的に理解が深められるよう工夫されております。

以上で、社会の説明を終了いたします。

細田教育長　　　　　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長　　　　　　種目社会について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－１の３ページを御覧ください。

推薦する発行者は、東京書籍、教育出版の２種です。

東京書籍の優れている点は、学習する際の視点や方法が明確にされているため、社会的事象への「見方・考え方」を働かせながら、考察したり構想したりする学習場面の設定が教師にとっても児童にとっても分かりやすくなっている点などでございます。

教育出版の優れている点は、「問い」を重視し学びの連続性を意識させるために、見開きページの最後に「次につなげよう」が示され、児童の思考の流れに沿った問題解決的な学習が展開できるよう工夫がなされている点などでございます。

細田教育長　　　　　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導１課長　　　　　　それでは、社会の各学校における主な研究所見を、教科書目録順に報告いたします。

東京書籍、学習計画、学習問題の設定が適切で、問題解決的な学習が進めやすい。教育出版、資料が精選されており、学習計画、学習問題の設定も適切で調べ学習が進めやすい。日本文教出版、児童の思考に沿った、問題解決的な学習が進められる、などでございます。

なお、各学校の研究所見の概要につきましては、資料Ｃ－１、５ページから６ページにまとめておりますので御覧ください。

細田教育長　　　　　　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

大谷委員　　　　　　　選定委員会の方から推薦されている東京書籍と教育出版についてですが、大きな違いは５・６年生において、分冊か一冊本かというところにあります。午前中にも話題となっていますが、この問題は非常に難しいと思います。内容的には例えば主権者教育において、普通選挙の問題あるいは参政権であるとか公民権そういった問題というのは政治、社会、歴史を互いに切り離せないものと思いますので、公民的な内容と歴史的内容を行ったり来たりすることで、より明確に指導ができるという思いがあります。教科書の分冊について調査専門員会ではどのような検討がされましたか。

調査専門員長　　一冊のものと分冊のもの、両方ともメリットとデメリットがあるということで話し合いが行われました。まず一冊のものについては児童が既習事項をその都度振り返ることで、学習の内容を確かめることが出来るそういったメリットがあると思います。ただランドセルが重くなるなどの重さの問題がございます。分冊の場合には、ページの開きやすさ、あるいはランドセルに入っている教科書の軽さなど、両方ともメリットとデメリットがあると思っております。

野上委員　　質問となりますが、例えば東京書籍の歴史編の方で渋沢栄一に関する記述があるかどうか確認させてください。近代国家をつくった父と言われている渋沢栄一や、明治維新期に使節団を仕掛けた岩倉具視について記述が載ってない教科書というのは私には解せないわけですが、そういう意味でバランスが取れているのは教育出版かと思います。

調査専門員長　　渋沢栄一の記述について回答させていただきます。渋沢栄一は教育出版で扱われております。東京書籍では扱われておりません。

武田委員　　私からは意見としまして、一つ目に東日本大震災の扱いとして、東京書籍と教育出版はチャプターレベルで記載されておりますが、日本文教出版の場合は本文には全く記述が無く、年表に載っているだけのようです。災害について日本文教出版では、その代わりに広島の豪雨災害を扱っているということで、出版社が大阪の会社なのでそういう扱いになるのかなと思いますが、やはりさいたま市の子どもたちに勉強してもらいたい社会の教科書を考えますとやはり東日本大震災は外せない話題であると思います。

次に、領土問題に関してですが、教育出版は記述がかなり詳しく、今実際どういうことで揉め事になっているのかというところまで踏み込んで、ここを読むと新聞で書かれていることがどういう意味なのかということが子どもたちにも分かるように書かれていますので、ありのままの社会を学ぶっていう観点では非常に親切な教科書だというふうに思います。それに対して東京書籍は、非常に分量も少ないですし、他の国の立場はともかく日本の立場を押し通すというような記述のように感じ、揉めている理由が子どもたちに分かりにくいように危惧します。日本文教出版はその点は問題ないように思いますが、以上の二つのことが備わっているのが教育出版であると思いました。

石田委員　　教育出版に掲載されている年表が大変素晴らしいと思います。ま

た、政治について、教育出版は最後に政治について話し合う場面が設定されており良いと思います。最後に、教育出版の４年１３２ページに見沼通船堀が詳しく掲載されています。これらのことから、教育出版を私は推薦します。

細田教育長　他に御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。

委員の皆様の御意見をまとめますと、教育出版を推薦されることで一致しておりましたので、教育出版を採択するということで御異議はありませんか。

委員各位　＜異議なし＞

細田教育長　それでは、社会の教科書は、教育出版を採択することとします。

地図

細田教育長　続きまして、地図の教科書について協議検討を行います。

調査専門員長から調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　地図の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された２種２点全てについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。

まず、東京書籍です。内容については、１３、１４ページを御覧ください。キャラクターの吹き出しを活用し、地図帳の使い方や読み取りのポイントを示したり、疑問を投げかけて児童の思考を促したりすることにより、第３学年から地図学習を進める際の手助けとなる工夫がされております。資料については、９８ページを御覧ください。「日本の自然災害」として過去に発生した災害について起きた年と場所を地図に位置付けることで、第４学年の自然災害から人々を守る活動や、第５学年の我が国の国土の自然環境と国民生活の関り」において、社会的事象の見方・考え方を働かせながら学習を進められるよう工夫されております。表記・表現については、８７ページを御覧ください。索引は、地図記号とともに黒、赤の２色で色分けされ、チェック欄を設けることで、児童が学習の足跡を残せるように工夫されています。

次に、帝国書院について御説明いたします。内容については、２３ページを御覧ください。情報量が精選された「広く見わたす地図」は各県の特色や位置関係が把握しやすくなっており、巻頭の「地図のやくそく」とあわせて活用することで、第３学年から地図帳に親しめる

よう配慮されております。資料については、９１から９４ページを御覧ください。「日本の自然災害と防災」では、これまでに日本で起きた主な自然災害について、発生した年と位置を示すとともに、「災害を防ぐ工夫」として国や地方公共団体による公助の取組についても詳しく解説されております。表記・表現については、５７ページを御覧ください。「舘岩」や「木賊温泉」など、さいたま市の児童が自然の教室で訪れる地名が掲載されており、社会の学習以外の場面においても活用することができるようになっております。また、１０６ページを御覧ください。索引は、黒、赤、青、緑の４色で色分けされ、地名などが地図記号とともに示され、地名などを探す活動がしやすいよう配慮がされております。

以上で、地図の説明を終了いたします。

細田教育長　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長　　種目地図について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－１の４ページを御覧ください。

推薦する発行者は、東京書籍、帝国書院の２種です。

東京書籍の優れている点は、キャラクターの吹き出しを活用し、地図帳の使い方や読み取りのポイントを示したり、疑問を投げかけて児童の思考を促したりすることにより、第３学年から地図学習を進める際の手助けとなる工夫がされている点がなど挙げられます。

帝国書院の優れている点は、情報量が精選された「広く見わたす地図」が、各県の特色や位置関係を把握しやすくなっており、また、「地図のやくそく」や「地球儀の使い方」とあわせて活用することで、第３学年から発達段階に応じて地図に親しめるよう配慮されている点などが挙げられます。

細田教育長　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします

指導１課長　　それでは、地図の各学校における主な研究所見を、教科書目録順に報告いたします。

東京書籍、地図帳を活用した学習方法の例示がよい。帝国出版、地図の読み取り方、記号等の説明が分かりやすく示されている、などでございます。

なお、各学校の研究所見の概要につきましては、資料Ｃ－１、６ページ下段にまとめておりますので御覧ください。

細田教育長　　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいいたします。

大谷委員　　先ほど専門員長より説明のありました、本市ゆかりの地名について帝国書院で掲載されている点と、帝国書院の５８ページと東京書籍の４４ページでの関東地方という地図を見比べてみますと、個人的には目に優しく見やすいのが帝国書院であると思いますので、帝国書院が良いと思います。

石田委員　　今、大谷委員が言ったように見やすいのは帝国書院であると私も思います。もう一点重要なのが、自然災害について帝国書院は非常に詳しく載っていまして帝国書院を強く推薦いたします。

野上委員　　帝国書院の地図には、領土について明確に記されているほか、資源小国日本が資源を確保するときに重要である排他的経済水域についても記載されています。また、帝国書院の８７ページから８８ページには、地形別に見た日本の人口という図表があり、自分が住んでいる街をもう一回眺めてもらう一つのきっかけになればいいと思います。最後に、地図というのは見たときに、わくわくドキドキしなければならず、そういう意味で輪郭がとても大切だと思っており、この輪郭が鮮明に映し出されているのが帝国書院の方が優れていると思います。

柳田委員　　質問ですが、ＱＲコードの活用方法について教えてください。

調査専門員長　　２社ともＱＲコードによって更に学習を深めることが出来るようになっております。東京書籍では巻末の９６ページにＤマーク、帝国書院では巻頭の６ページにコンテンツメニューとしてＱＲコードを活用することで更に学習が深められるようになっております。地図帳の使い方、あるいは関連機関にリンクができるなど両社とも授業の学習を深められるように工夫されております。

武田委員　　先ほどの領土の件ですが、社会の教科書で学んだことを地図帳でビジュアルに把握することが地図帳の役割だと思います。その領土の基本概念が分かりやすく説明されていることが必要だと考えており、例えば帝国書院の場合は２９ページに鳥瞰図で掲載されている一方で、東京書籍では断面図になっていますが、鳥瞰図の方が把握しやすいように思います。領土問題というのは政治的に様々な主張があるとは思いますが、それに関わる事実を知識として習得することが子どもにとっては大切なことと思います。その部分の分かりやすさということで

は、帝国書院は見開きで領土の写真が全部載っているところ、東京書籍では領土の写真が別のページに掲載されており、見開きで一度に基本情報を把握できるという点でも、帝国書院が便利ではなかろうかというふうに思います。

細田教育長　　他にいかがでしょうか。他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。

委員の皆様の御意見をまとめさせていただきますと、見やすさ、構成、資料の豊富さ、領土の基本情報を把握しやすい点などにおいて帝国書院の教科書を推薦する声が多くありましたので、帝国書院を採択するということで御異議はありませんか。

委員各位　　＜異議なし＞

細田教育長　　それでは、地図の教科書は、帝国書院を採択することとします。

算数

細田教育長　　続きまして、算数の教科書について協議検討を行います。

調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　　算数の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された６種５８点全てについて調査研究を進めました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。

まず東京書籍です。内容については、６年生２０６ページを御覧ください。本ページは「ふりかえろう「数と計算」の目」など、領域ごとに「数学的な見方・考え方」について、６年間の学習を振り返り、数学的に考える方法や数学的表現の特徴を明記しています。資料については、５年生下２０ページを御覧ください。実物の写真を使用することで、算数と実生活の関連を意識させながら問題解決ができるように工夫されています。また、防災に関するデータの整理など、環境問題にも配慮しています。表記・表現については、５年下目次を御覧ください。各学年の目次に、前後の学年とのつながりのある単元を明記しています。また、本時の「めあて」と「まとめ」が明記してあり、「何を学ぶのか」「何を教えるのか」などが明らかになっています。小学校１年生の学習では、スタートカリキュラムに配慮し、別冊のＡ４版にしており、教科書がノート的役割を担うとともに、数ブロックなどの操作が紙面上でしやすくなっています。

次に、大日本図書です。全学年が１冊の合本で構成されております。内容については、２年生６ページを御覧ください。２年生以上で、「算数まなびナビ」として、問題解決の手続きを明らかにし、対話的な学びについても明記しています。また、単元によって問題解決の学習過程をページ横に明記しています。さらに、プログラミング的思考を含め、プログラミング学習を１年生から用意しています。資料については、４年生２５１ページを御覧ください。中学年と高学年の教科書では、算数が仕事にどのように役立っているかについて、子ども記者がインタビューする形で、キャリア教育にも寄与しています。表記・表現については、５年生を御覧ください。右ページの右上に、カラーで囲まれた単元名が記入されております。例えば、「数と計算」の領域は緑、「図形」の領域はピンクなど、それぞれの領域のつながりがわかるようになっています。また、キャラクターに外国の子供の名前を登場させ、人権教育にも配慮しています。

次に学校図書です。全ての学年で、冊子の大きさがＡＢ版となっております。内容については、５学年下２０ページを御覧ください。単元の導入では、身近な事象から算数の問題を見出し、数学的活動に進んで取り組めるようにしています。プログラミング学習は、１年生から位置付けられており、ＷＥＢ上で実際に操作・体験できるようにＱＲコードが掲載されております。図の指導も系統的に行えるよう構成されています。資料については、３年上１ページを御覧ください。巻頭ページにカラー写真を用いて、様々なデータをもとに算数への興味・関心を高められるようにしています。また、６年生では、中学校との接続が図れるよう「中学校へのかけ橋」が別冊になっています。表記・表現については、４年上５３ページを御覧ください。「めあて」と「まとめ」が赤字・赤囲みになっており、「何を学ぶのか」「何を教えるのか」などが明らかになっています。ページ左側の余白には、問題解決の学習過程が緑の文字で明記され、主体的な学びを意識させています。

次に、教育出版について御説明いたします。内容については、５学年４６ページを御覧ください。複数の考え方を紹介し、それぞれの言葉で説明し、比較・検討する活動を通して、思考力や表現力を高める工夫をしています。また、子どもの問いから学習めあてをつくり、学びあいを通して、問いを深め、学んだことをまとめていく工夫があります。資料については、５年２９４ページを御覧ください。下学年の既習事項を「算数のミカタ」として巻末に掲載し、前学年とのつながりが一目でわかるようになっております。また、学習内容が端的に記載・整理されていて、既習事項の確認・定着ができる工夫もあります。表記・表現については、４年下５０ページを御覧ください。単元のま

とめでは、４コマ漫画で学習内容を振り返り、定着が図れるよう工夫されています。また、４８ページのように、ページの下には、「よくあるまちがい」など、つまずきに対する手立ても講じています。

次に、新興出版社啓林館です。内容については、５学年２０６ページを御覧ください。新しい領域「データの活用」単元で、統計的な課題解決のフレームワークである「ＰＰＤＡＣ」を明確に示しております。巻末には、１年間の学習内容のまとめを一覧にして明記しています。プログラミング学習は、５・６学年を中心に掲載しており、プログラミング的思考については１年生から掲載して、系統的に指導ができる構成になっております。ＱＲコードが多く掲載され、デジタルコンテンツとして活用できるようになっており、主体的に学習をする一助となっています。資料については、６年２３４ページを御覧ください。社会で活躍する人々を紹介し、現在の職業に算数がどのように活用されているかを掲載しています。表記・表現については、２年上４ページを御覧ください。２学年以上の授業開きには、板書例をベースに学習の進め方を丁寧に紹介しています。また、問題解決のフローや児童のノート整理の仕方も明示しています。

最後に、日本文教出版です。内容については、５学年下１７ページを御覧ください。「自分でみんなで」のページでは、問題解決の学習過程を各ページの右側に明示し、教科書内のキャラクターが各々の過程で行うことを吹き出しで明記しており、子どもが主体的に学習を進めるための道筋が明確になっています。また、「めあて」と「まとめ」が赤字で明確になっています。プログラミング学習は、５学年の「正多角形と円」で取り上げています。資料については、４年上２３ページから御覧ください。子ども達が多様な考え方や対話をしている場面を随所に掲載し、主体的・対話的な学習を効果的に示しています。また、２年生以上の巻末についている「算数で使いたいことば・考え方」が切り取れるようになっており、常に机上に置き、学習に生かせるように工夫されています。表記・表現については、２年上２０ページを御覧ください。このページの筆算のように、当該学年以上の漢字には、見開きごとに全てフリガナをつけており、全ての児童が等しく学べるように細やかな部分にまで配慮がなされております。

以上で、算数の説明を終了いたします。

細田教育長　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします。

調査専門委員長　　種目算数について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－１の５ページを御覧ください。

推薦する発行者は、東京書籍、教育出版、新興出版社啓林館の３種です。

東京書籍の優れている点は、各単元で大切にしたい「数学的な見方・考え方」をとらえるためのページが単元末に特化して掲載されている点などが挙げられます。

教育出版の優れている点は、様々な問いを記号で表すことにより、めあてをつくり、問いを深め、答えを見出し、また新たな問いにつなげるサイクルを完成させている点などが挙げられます。

新興出版社啓林館の優れている点は、２年生以上の授業開きには、特設ページとして、問題解決の進め方、児童のノート整理の仕方等を示し、問題解決の学習の流れが教師にも児童にも一目でわかるように工夫されている点などが挙げられます。

細田教育長　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします

指導１課長　　それでは、算数の各学校における主な研究所見を、教科書目録順に報告いたします。

東京書籍、学習過程が分かりやすく表記されている。大日本出版、問題解決の流れが明確に示されている。学校図書、単元の導入で写真等を効果的に用いている。教育出版、身近なものを題材として取り上げ、児童の興味・関心を高めている。新興出版社啓林館、学び方と板書例が示されており、授業づくり及び児童の学習の進め方の参考となる。日本文教出版、学習内容が精選されており使いやすい、などでございます。

なお、各学校の研究所見の概要につきましては、資料Ｃ－１、７ページから８ページにまとめておりますので御覧ください。

細田教育長　　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員　　調査専門員長にお伺いしますが、算数でもＱＲコードの活用が非常に多くなっているように思います。啓林館のほとんどのページにはＱＲコードが付いています。各教科書のＱＲコードを扱っている分量と、その活用方法について教えてください。

調査専門員長　　ＱＲコードは啓林館が充実していると思いますが、全ての教科書の表紙にＱＲコードがあるほか、各単元の導入やまとめの画面にＱＲコードが掲載されています。活用方法につきましては、子どもたちがタブレット端末を教室に持っていき見ることが出来るほか、家庭に帰っ

てから自分で練習問題を解くというような使い方もできます。

石田委員　　若い先生の中に抵抗を感じている方はいませんか。

調査専門員長　　若い教師ほど慣れております。

石田委員　　そうですね。私も新しいもの好きなので。今年の教科書でこれだけ掲載されているということは、４年後の教科書のことを考えますと、有効に使った方がいいように思います。

調査専門員長　　おっしゃる通りだと思います。このようなコンテンツは、デジタルデータを多く載せることが出来ますので、今後、益々増えてくるように思います。

大谷委員　　質問となりますが、私自身の経験として、算数という教科は積み重ねがないと新しい学習が身につかない最たる教科と感じております。そうしますと、算数の教科書が新しい単元に入っていくときに、それまでの振り返りをしっかりと行い、そして新たな単元に入っていくのが教科書としての在り方であると考えています。そのような観点で各教科書の特徴を参考までにお聞かせください。

調査専門員長　　各教科書とも導入の場面で前学年の既習事項について触れられております。また、その学年の巻末にその学年の学習のまとめ、数学的な見方、考え方をまとめて載せている教科書もあります。

柳田委員　　私自身、算数が苦手だったことから、これを見るというより一回勉強する気持ちで取組みましたところ、東京書籍の最初の入門編がすごく易しく、この教科書であれば算数がおもしろく感じることができるように個人的に思いました。

　次に質問ですが、巻末にペーパークラフトが有るものと無いものがあるようですがメリットを教えてください。

調査専門員長　　ペーパークラフトなどの教材については各教科書も巻末に工夫をこらして制作しております。これにより担任の教材準備の効率化や全員が同じものを使用できるという点において有効であると思います。

野上委員　　私の方は表面的な感想かもしれませんが、ソサイエティ５．０が間近に迫る社会において、それを意識していることを読み取れるのが啓林館と東京書籍の本であると思っております。産業界出身者としまし

ては、それを意識している教科書を眺めたくなるわけで、どちらの教科書とすべきか皆さんの御意見も踏まえて決めようと思っています。

細田教育長　　私が学校に勤務していた時の経験ですが、学校教育のすべての教科を眺めたときに、算数や数学が最もＩＣＴとの親和性が高い教科だなと実感しております。また、全ての教科の中で各出版社が良いデジタルコンテンツを作るための努力を最もしている教科であるということも実感しておりました。そういった着眼点で教科書を見渡しますとやっぱり皆さんの御意見にありますように、東京書籍と啓林館の教科書が現時点でも秀でているというふうに私自身も考えております。そういった中で、現時点では東京書籍の教科書を現在、使用しているわけですが、学校での調査研究について確認をさせてください。

指導１課長　　学校からの研究所見を少し詳しく申し上げますと、東京書籍の場合には、数学的な見方、考え方を分かりやすく表記している、デジタルコンテンツがあり学びを深められる、数学的活動が分かりやすく表記されているといった所見結果が見られます。啓林館につきましては、写真やイラスト、レイアウトが良い、デジタルコンテンツが充実していて学びを深められる、公式の意味理解などをしっかり位置付けているといった内容的な所見結果のほか、生活に結び付いた教材で児童の興味・関心を高めているといった報告がされているところでございます。

武田委員　　本当に甲乙つけがたいところで、他にも大日本図書などは読みものコラムが充実しておりまして、例えば３年生では外国のお釣りの渡し方について日本と全く違う話や、４年では英語の数の読み方について触れられているなど、暮らしの中での算数の関わり方も捨てがたいところもございます。

しかし、やはり算数を好きな子どもだけでなく、全ての子どもにとって必要なものということでアピールできるのは、例えば啓林館の６年生の広がる算数ということでは、数の計算や図形ではアレルギーを感じる子どもにとって非常に有効な内容であると思いますし、一方、東京書籍の６年の巻末の応用は本当に充実しており、小・中の接続に非常に役に立つと感じる面もありますので、最終的にはどちらを重視するかということになると思います。

最後に、この観点はそんなに重要じゃないかもしれませんが、例として、子どもが算数に取り組むときの最初の山は、繰り上がり繰り下がりかなと思いますが、啓林館は一つのやり方を基本としている一方で、東京書籍は二つのやり方が提示され、色んな考え方から同じ結果

に行き着くというのは算数的な思考につなげやすいかなと思いました。

石田委員　　ＱＲコードは非常に重要だと思います。それから啓林館の１２２ページに安全な学校生活を送ろうという題材があるなど、内容が充実していますので私個人としては、啓林館が良いと思います。

野上委員　　漠とした意見ですが、ここ数年委員をさせていただき、小学校、中学校、高等学校教科書採択に関わらせていただきまいたが、キャリア教育の視点で考えますと、啓林館は理系に進む人たちの感じがします。高等学校であれば、もう社会一歩手前ですから今、石田委員がおっしゃった意見に賛成するのですが、これが小学校ですと多くの人が算数を学ぶというときには、ひょっとすると東京書籍の方が馴染みやすいように思います。

細田教育長　　ここで５分間の休憩をさせていただき、その後、継続して審議をさせていただきたく思います。

＜休憩＞

細田教育長　　休憩前に引き続き会議を再開させていただきます。

石田委員　　皆さんの御意見を改めて踏まえまして、柳田委員がおっしゃたような算数に対する入門での馴染みやすさや、数学的な考え方、ＱＲコードも適切であるとのことで私も東京書籍が良いと考えました。

細田教育長　　他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。
委員の皆様の御意見をまとめさせていただきますと、東京書籍が優れていとのことでしたので、東京書籍を採択するということで御異議はありませんか。

委員各位　　＜異議なし＞

細田教育長　　それでは、算数の教科書は、東京書籍を採択することとします。

理科

細田教育長　　　　　続きまして、理科の教科書について協議検討を行います。
調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　　　　理科の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された６種２４点全てについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。

まず、東京書籍です。内容については、５年９７ページ中段の「学ぶ前のわたし」、併せて、単元終末の１１７ページ「学んだ後のわたし」を御覧ください。同じ問いに対して考えることで、考えの変容が実感できる工夫があります。また、各単元の導入では、児童が主体的に問題を見いだす場面を設定しています。同じく５９、６０ページを御覧ください。「レベルアップ理科の力」のマークと緑色の背景で強調して示し、思考力・判断力・表現力を重点的に育成する場面を設定しています。４年１４６ページを御覧ください。「学びを生かして深めよう」で、習得した知識を使って、実社会・実生活との関連を考え、理解を深める工夫があります。資料については、６年２０１ページ以降を御覧ください。「理科の調べ方を身につけよう」で、器具の使い方、記録や話合いの仕方等理科の学び方が掲載されており、定着を図る工夫があります。表記・表現については、大きいＡ４判を採用し、ダイナミックな写真等により、児童の関心が高まるよう工夫をするとともに、軽量な紙を使用し、重量にも配慮しています。

次に、大日本図書について御説明いたします。内容については、４年９３ページを御覧ください。「深めよう」において、学習したことを活用する実験等を行い、学習を深めていく工夫があります。５年１３９ページを御覧ください。「学んだことを生かそう」で、各単元末では、習得した知識を使って他の事象を説明し、理解を深める工夫があります。また、各単元の導入では、児童が主体的に問題を見いだす場面を設定しています。資料については、５年１７２ページ以降を御覧ください。実験・観察器具の使い方、記録の仕方等理科の学び方が掲載されており、定着を図る工夫があります。６年１００、１０１ページを御覧ください。「サイエンスワールド」では、豊富な資料から児童の興味・関心を高める工夫があります。表記・表現については、ユニバーサルデザイン書体の採用等により読みやすく構成されています。

次に、学校図書について御説明いたします。内容については、３年１２１ページを御覧ください。「学びを生かす」で、学習したことを生かして問題解決する場面が設けられています。６年１９ページを御覧ください。「活用」で、学習したことを生かして考え、理解を深める工夫があります。また、各単元の導入では、児童が主体的に問題を

見いだす場面を設定しています。資料については、６年２１２ページ以降を御覧ください。問題の見つけ方、話合いや記録の仕方、器具の使い方等理科の学び方が掲載されており、学習の取り組み方が理解できるように工夫があります。４年３６、３７ページを御覧ください。「くらしに生きる」資料を設け、理科で学習した内容と実社会・実生活との関連から理解を深める工夫があります。表記・表現については、各単元の最初のページ左端に見出しをつけ、今はどの単元を行っているか児童が理解できるように工夫があります。

次に、教育出版について御説明いたします。内容については、３年１２５、１２６ページを御覧ください。「見つけよう」を設定し、問題を見いだす過程を丁寧に扱い、教師の発問例を示すことで、児童に問題を見いだす力を養う工夫があります。６年１８９ページを御覧ください。「学びを広げよう」で、習得した知識を使って、実社会・実生活との関連を考え、理解を深める工夫があります。また、各単元の導入では、児童が主体的に問題を見いだす場面を設定しています。資料については、６年５０ページを御覧ください。ほぼ実物大であることから４９ページのように、臓器を実感しながら説明活動を行う工夫があります。また、３年１４２、１４３ページを御覧ください。「広がる科学の世界」では、学習内容を上位学年での学習内容と関連して記載し、興味・関心を高める工夫があります。表記・表現については、Ａ４判に近い大判を採用し、ダイナミックな写真等により、児童の関心が高まるよう工夫をするとともに、軽量な紙を使用し、重量にも配慮しています。

次に、信州教育出版社について御説明いたします。内容については、４年４８、４９ページを御覧ください。「ものづくり」「しりょう」において、学習内容を活用したものづくりや、実社会・実生活との関連から理解を深める工夫があります。５年１２０、１２１ページを御覧ください。単元末の「まとめよう」で学習内容を振り返り、知識の定着を図る工夫があります。また、各単元の導入では、児童が主体的に問題を見いだす場面を設定しています。資料については、４年6ページを御覧ください。スケッチの仕方について明記されており、技能の定着を図る工夫があります。６年５６、５７ページを御覧ください。「やってみよう」として発展的な体験活動を紹介し、科学的な興味・関心を高める工夫があります。表記・表現については、問題文はマークと太字で記されており、観察・実験の手順が番号で示されています。また、ユニバーサルデザインに配慮したデザインが用いられています。

最後に、新興出版社啓林館について御説明いたします。内容については、６年４７ページ中段の「はじめに考えてみよう」、併せて、単

元終末の６４ページ「もう一度考えてみよう」を御覧ください。同じ問いに対して考えることで、考えの変容が実感できる工夫があります。また、各単元の導入では、児童が主体的に問題を見いだす場面を設定しています。４年８４、８５ページを御覧ください。「活用しよう」「つなげよう」において、学習したことと実社会・実生活との関連を考え、理解を深める工夫があります。資料については、６年１９９ページ以降を御覧ください。「フムロウ博士の資料室」で器具の使い方、記録や話合いの仕方等理科の学び方が掲載されており、定着を図る工夫があります。また、巻末「月の満ち欠けモデル」を御覧ください。児童の思考を助ける教材として工夫があります。表記・表現については、ユニバーサルデザインフォントの採用等により読みやすく構成されています。

以上で、理科の説明を終了いたします。

細田教育長　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長　　種目理科について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－１の６ページを御覧ください。

推薦する発行者は、東京書籍、教育出版、新興出版社啓林館の３種です。

東京書籍の優れている点は、「学ぶ前のわたし」「学んだ後のわたし」「ふり返ろう」があり、学習前と学習後の自分の考えの変容を捉え、理科を学ぶ意義や有用性を実感できるよう工夫されている点などが挙げられます。

教育出版の優れている点は、「科学のまど」で理科の学習内容が日常生活の中でどのように生かされているのかを取り上げ、「学びを広げよう」で問題解決の学習過程の中で生活と関連付けた問題がある点などが挙げられます。

新興出版社啓林館の優れている点は、「はじめに考えてみよう」「もう一度考えてみよう」があり、学習前と学習後の自分の考えの変容を捉えることにより、理科を学ぶ意義や有用性を実感できるよう工夫がされている点などが挙げられます。

細田教育長　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします

指導１課長　　それでは、理科の各学校における主な研究所見を、教科書目録順に報告いたします。

東京書籍、写真や図などの資料が効果的であり、学習過程が児童の思考の流れに沿っていて分かりやすい。大日本図書、各単元の導入の写真資料等が効果的であり、学習の流れが分かりやすい。学校図書、学習資料が豊富で、意欲的な学習につながる。教育出版、写真や図などの資料が効果的であり、学習過程が児童の思考の流れに沿っていて分かりやすい。信州教育出版、研究所見はございません。新興出版社啓林館、各単元の導入の写真や図などの資料が効果的であり、学習の流れが分かりやすい、などでございます。

なお、各学校の研究所見の概要につきましては、資料Ｃ－１、９ページにまとめておりますので御覧ください。

細田教育長　　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

大谷委員　　先ほど、選定委員会から推薦がありました３種につきまして、それぞれ大きさが違いますが、調査専門員会においては、その点について議論はされましたか。

調査専門員長　　大きさにつきましては３種類ございますが、それぞれ実際に、引き出しやランドセルに入れても特に支障はございません。また重さでございますが、３年生と６年生につきまして上皿はかりで重さを測定しましたところ、３年生につきましては３８０ｇから４３３ｇの間に６社が入っており、うち教育出版は４２０ｇ、東京書籍は４１０ｇ、啓林館は３９０ｇでございました。同じく６年生についても測定しましたところ、４３０ｇから５３５ｇの間に入っており、啓林館が４９０ｇ、教育出版、東京書籍がそれぞれ５２０ｇでございました。

石田委員　　先ほどより話題とさせていただいておりますが、ＱＲコードが理科においても非常に多く掲載されており、啓林館は各ページにそれが掲載されており、例えばＱＲコードを開くと蝉の声が聞こえたり、メダカの産卵の様子を確認できたりするなど、非常に画期的な教科書だと私は思いますが、調査専門員会ではどのような話がありましたか。

調査専門員長　　ＱＲコードにつきましては、６社全てが載せており、自社のＨＰに接続され、動画や実験の方法などの資料に繋がるように構成されております。これを活用することで子どもたちの学習も深まることと認識しております。

細田教育長　　石田委員からは特に啓林館のデジタルコンテンツが優れているという意見だったと思いますが、各社の比較は調査専門員会ではされま

したか。

調査専門員長　各社とも、それぞれ必要な情報については掲載されていると調査いたしました。

石田委員　東京書籍にさいたま市立岩槻小学校が掲載さているようですが、そのような認識でよいでしょうか。また、東京書籍は理科と算数の学習内容が関連付けられ優れていると感じました。

調査専門員長　学校名が記載されておりませんので、確実なことは申し上げられませんが、様子を見る限りでは岩槻小学校と思われます。

野上委員　産業界としては、理系離れについて懸念しております。資源小国の日本では、何かを作り出す必要があり、次代を担う子どもたちのことを考慮すると、キャリア教育に結び付く教科書が良いように思います。その観点から、例えば、東京書籍の８９ページ、１３１ページなどに、職業や仕事をすることとなったきっかけについて記載されており、キャリア教育にも使用できる教科書として東京書籍が優れていると感じました。

武田委員　老婆心ながら、理科室は実験を行うなど危険性が高い場所であると感じておりますので、理科室の掟などをしっかりと把握されていることが必要であると思います。その観点から、例えば東京書籍の場合、理科室の使い方が６年の巻末にまとめられており、一方、啓林館では６年生の８８ページ以降の水溶液の単元で扱われており、いずれも情報自体は詳しく分かりやすく書かれていますが、単元のところにあるのか巻末のところにあるのかで、使い勝手が違うように思います。調べたいときに、巻末にある方が便利ではないのかなとか思いますが、その辺りは実際に授業をされる先生の意見をお聞かせください。

調査専門員長　御指摘のとおり、出版社によりまして器具の使い方理科室の使い方について巻末にまとめてある出版社と、実験の説明の後にまとめてある出版社がありました。実験の後にまとめてあるものにつきましては、間違いなくそこを確認するという利点がございますが、一方で巻末にまとめてあるものにつきましては、その都度確認しながら行うとともに他の実験観察のときでも活用するという点で、活用する幅がさらに広がると調査専門員会では意見がありました。

細田教育長　他にいかがでしょうか。他に、御意見がなければ、これで協議は終

了にいたしまして、採決に移りたいと思います。
委員の皆様の御意見をまとめさせていただきますと、教科横断的な視点や、キャリア教育の活用において優れている点、理科室の使い方に関する記述が利用しやすい点などから東京書籍を採択するということで御異議はありませんか。

委員各位　＜異議なし＞

細田教育長　それでは、理科の教科書は、東京書籍を採択することとします。

音楽

細田教育長　続きまして、音楽の教科書について協議検討を行います。
調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　音楽の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された２種１２点全てについて調査研究をいたしました。
それでは、教科書目録順に御説明いたします。
まず、教育出版です。題材構成された主要部分で、「学習のめあて」と学び方を示唆する「まなびナビ」を示し、児童が主体的に学習内容を捉え、思考・判断・表現しながら見通しをもって学習できるよう配慮されております。内容については、３年生４０から４３ページを御覧ください。歌唱共通教材は「にっぽんのうたみんなのうた」として配置され、3ページにわたり歌詞に表されている風景の迫力ある写真が使用され、児童が情景を想起しやすいよう工夫がされております。４３ページの「学び合う音楽」のコーナーでは、児童が思考・判断したことが表現に生かせるよう、ヒントやプロセスの具体例が示されております。資料については、5年生３０、３１ページを御覧ください。透明シートを写真に重ねることにより、オーケストラの楽器の配置を児童自らが確かめられるように配慮がされております。６２ページ「ショートタイムラーニング」を御覧ください。全学年において英語の歌詞による楽曲が掲載されており、教科横断的な学習ができるようになっております。表記・表現については、５０、５１ページを御覧ください。左上に、題材名と学習のめあてが、右上には小学校学習指導要領の共通事項で示された「音楽を形つくっている要素」を「音楽のもと」として記し、更に中・高学年では紙面にメモ欄が用意されており、児童が主体的に学習に取り組むための工夫がされております。右上にある「まなびリンク」はＷＥＢサイトにアクセスすると、演奏

に合わせて主旋律の動きが楽譜上に動画で示され、旋律の繰り返しや変化を学ぶ際の参考にできます。

次に、教育芸術社について御説明いたします。音楽を通して生活や社会とつながるという視点で資料的なコラムが配置され、人と人とのつながりや背景を学びながら音楽的な見方・考え方ができるように配慮されております。内容については、６年生４４から４７ページを御覧ください。歌唱共通教材は「こころのうた」として配置されており、家族や地域の人にインタビューをする活動や、音楽が人と人とをつなぐ役割を果たす場面について話し合う活動を取り入れ、日本の歌をうたい継ぐ気持ちが養われるよう展開が工夫されております。また、２２、２３ページを御覧ください。音楽づくりの学習では、ワークシート例を示したり、ペア活動時の会話を吹き出しにして考える観点を例示したりと主体的で対話的な学びを引き出す工夫がされております。資料については、２年生６ページを御覧ください。英語の歌が掲載されており、外国語活動の学習との関連が図られております。また、ページの右端にはＱＲコードが示され、各国の挨拶の言葉の発音を調べることができます。表記・表現については、４６、４７ページを御覧ください。見開きごとに学習のめあてが示され、児童が見通しをもって主体的に協働して学ぶことができるよう工夫がされております。学習指導要領の共通事項に示された音符や記号、用語等は、右下の「新しく覚えること」と別枠に表記され、各学年で学ぶべき内容が一目でわかる工夫がされております。

以上で、音楽の説明を終了いたします。

細田教育長　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長　　種目音楽について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－１の８ページを御覧ください。

推薦する発行者は、教育出版、教育芸術社の２種です。

教育出版の優れている点は、３ページにわたる迫力ある情景写真、原寸大の鍵盤ハーモニカ写真を使った説明写真、透明フィルムを活用した学習シートなど、児童の意欲を掻き立てながら主体的に学習に取り組めるよう工夫がされている点などが挙げられます。

教育芸術社の優れている点は、歌唱や器楽の技能を身に付けられるようポイントやアドバイスを分かりやすく示し、基礎的・基本的な知識・技能が無理なく習得できるよう工夫がされている点などが挙げられます。

細田教育長　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします

指導１課長　　それでは、音楽の各学校における主な研究所見を、教科書目録順に報告いたします。

教育出版、音楽づくりのためのヒントやアドバイスが数多く掲載されている。教育芸術社、教材の難易度に無理がなく柔軟性をもたせている、などでございます。

なお、各学校の研究所見の概要につきましては、資料Ｃ－１、１２ページから１３ページにまとめておりますので御覧ください。

細田教育長　　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

武田委員　　君が代について、子どもにとっては歌詞を理解し難い部分がありますが、教育出版は１年生の７１ページに、さざれ石が岩になる様子を写真で説明されており子どもが理解しやすい工夫がされています。教育出版の場合は、各学年において特に内容的には変更が無く、最低限の情報が確認できる構成となっている一方で、教育芸術社は各学年で情報量が増え、トータルで情報量自体は教育芸術社の方が多く理解を深めることができるとは思いますが、情報を小出しにしているため、例えば先ほどの、さざれ石が岩になる様子は３年生で取り上げられています。教科書としては、基本的な常識を最初に教えた方が良いと思いますので、教育出版の方が子どもには分かりやすいという印象がありました。

大谷委員　　君が代について意見を申し上げますと、教育芸術社の６年生の巻末に、国家を歌ったり聞いたりするときのマナーとして、右の写真のように起立して頭にかぶっているものを取ることはよく行われていますという記述がありますが、帽子などをかぶっていたら大変な問題だと思います。きちっと立ってかぶり物を取って相手の国旗、国歌、自国の国旗、国歌に対してのきちっとした敬意を表すというのは大事なことだと思いますし、これからの国際社会において、子どもたちにはそのような指導が必要だろうと思います。一方、教育出版社の方には誇りをもって歌いましょうとの記述があり、これが大事だと思います。そのほかは甲乙つけ難い感じはしますが、歌の背景が豊かに描かれているのは教育出版の方であると感じました。

野上委員　　対照的な教科書だと二つを読んで感じました。教育出版の方は皆さんの指摘どおり、音楽の教科書として優れていると思う一方で、教育

芸術社は、クラシックの基本に忠実で和音とか音符の長短あるいはリズムといった音楽の基本知識を習得するのに優れていると感じました。

調査専門員長　　例えば５年生の共通教材を見て比べますと、例えば教育芸術社の１５ページには、ポイントとして音の上り下がりに気を付ける、強弱記号を意識する、曲の山を意識するなどかなり知識機能の習得や表現力を身に付けることに力を入れています。教育出版は例えば１１ページに、歌う、リズム打ちをする、身体表現をするなど様々な活動を通して児童が主体的に対話的に学び進めるという、そういうような作りとなっており、各会社のスタンスがあると思います。

細田教育長　　両社ともそれぞれ良い部分がありますが、今日的な学習の形態を考慮すると、音楽のような教科は、豊かな表現性を身に付けることが重要であるように思います。

細田教育長　　他にいかがでしょうか。他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。

委員の皆様の御意見をまとめさせていただきますと教育出版の教科書の御推薦が多くございましたので教育出版を採択するということで御異議はありませんか。

委員各位　　＜異議なし＞

細田教育長　　それでは、音楽の教科書は、教育出版を採択することとします。

それでは、暫時休憩といたします。再開は１５時１５分といたします。

図画工作

細田教育長　　それでは再開します。図画工作の教科書について協議検討を行います。

調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　　図画工作の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された２種１２点全てについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。

まず、開隆堂出版です。内容については、１・２年上の２から４ページを御覧ください。巻頭で１年間のカリキュラムが見開きページで

示され、見通しをもって各題材の内容をとらえることができる工夫がされております。続いて、１・２年上の４４、４５ページを御覧ください。題材で育てたい資質・能力が３つの学習のめあてと、マークで示されております。また、重点的に育てたい力については、下線を引き文字の色を変えて強調することで、児童が目的意識を強くもって活動できる工夫がされております。次に、５・６年下の３０から３３ページを御覧ください。鑑賞の題材は、各学年とも４ページの内容で構成し、様々な美術作品やそれに関連する児童作品を掲載するなど、発展的な鑑賞活動ができる工夫がされております。資料については、3・４年上５０から５７ページを御覧ください。ここでは、「学びの資料造形の引き出し」を設け、用具の扱い方や表し方などが示され、図画工作の基礎・基本を習得できる工夫がされております。表記・表現については、３・４年下の４０、４１ページを御覧ください。題材名の上に題材で扱う主な材料や用具が文字とイラストで示されております。

次に、日本文教出版について御説明いたします。内容については、１・２年上４から６ページを御覧ください。各学年の巻頭に「教科書美術館」が見開きページで構成され、形や色の面白さ、美しさなどを感じさせながら、造形的な視点を育む工夫がされております。続いて、５・６年上３８、３９ページを御覧ください。題材で育てたい資質・能力が３つの学習のめあてとマークで示されるとともに、題材名の上には文字の色を変えてめあての概要が記載され、児童と保護者がめあてを共有しながら授業を展開できる工夫がされております。次に、1・２年下の２８、２９ページを御覧ください。鑑賞の題材では、児童の体験を促し、感じたことを自分で確かめたり、友達と話し合ったりしながら、よさや美しさを感じる鑑賞活動ができる工夫がされております。また、キャラクターが登場し、形や色などの造形的な視点を意識させる工夫がされております。資料については、３・４年上の５８から６５ページを御覧ください。ここでは、「つかってみよう　ざいりょうとようぐ」を設け、材料や用具の扱い方、留意点などが示され、図画工作の基礎・基本を習得できる工夫がされております。表記・表現については、３・４年下の１２、１３ページを御覧ください。学年全ての題材が見開きページで示され、参考作品や活動の情景写真などが大きく掲載されております。

以上で、図画工作の説明を終了いたします。

細田教育長　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長　　種目図画工作について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－１の９ページを御覧ください。
推薦する発行者は、開隆堂出版、日本文教出版の２種です。
開隆堂出版の優れている点は、巻頭で１年間のカリキュラムが見開きページで示され、各題材の内容を視覚的にとらえ、見通しがもてるよう工夫されている点などが挙げられます。
日本文教出版の優れている点は、多様な材料や活動、発展的な参考作品が掲載されており、形や色の面白さや美しさを感じさせながら、児童の興味・関心が高まる工夫がされている点などが挙げられます。

細田教育長　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします

指導１課長　　それでは、図画工作の各学校における主な研究所見を、教科書目録順に報告いたします。
開隆堂出版、児童が参考にしやすい作品の写真が充実しており、巻末資料において用具の扱い方や製作方法が丁寧に説明されている。日本文教出版、教科書の発色がよく色彩が鮮やかであり、題材が魅力的で児童の活動意欲が高まる、などでございます。
なお、各学校の研究所見の概要につきましては、資料Ｃ‐１、１４ページにまとめておりますので御覧ください。

細田教育長　　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

大谷委員　　開隆堂出版の心を開いての風神・雷神図、あるいは５・６年下の龍を見るという作品など、鑑賞作品が優れていると私は見させていただきました。そういったことから私自身は開隆堂がよろしいかと思います。

石田委員　　日本文教出版の５・６年の２、３ページの身近なものを見つめてにおいて、さいたまの盆栽が掲載されています。また、５・６年での６４ページですね、中学生になるあなたへということで中学生になるにはどうしたらいいかっていうことが小学校の最後のページに載っています。このことから、私は日本文教出版が良いと思います。

野上委員　　お二人の意見にそれぞれ賛成ですが、日本の文化としての作品を目に焼き付けるためには原寸大をビジュアル的にはっきり焼き付けることが重要で、それにより郷土愛なども育むことができると思います。それぞれの教科書に良い点があるとは思いますが、一点、私は日

本のことを多くどれだけ紹介しているかという点で、一日の長が開隆堂にあるように思います。

柳田委員　　図画工作はわくわくする気持ちが重要だと感じますので、開隆堂の１年の教科書の表紙にある、わくわくするという文言や、教科書に掲載されている皆が笑顔の写真など、そういった点で教科書を見て私もわくわくしたというのが個人的な意見です。

武田委員　　電動糸のこぎりの使い方ですが、開隆堂では５・６年上の５４ページに、日本文教出版の方は５・６年上の６０ページにそれぞれ掲載されております。電動糸のこぎりの使い方を見ると日本文教出版の方は全体写真があって分かりやすいと思いますが、ペンチの使い方については、開隆堂が５２から５３ページ、日本文教出版は６２ページに掲載されており、ペンチの使い方では開隆堂の方が詳しい記述がなされ、なかなか悩ましく、両方遜色がないと思います。

そして、先ほど話題となった素材については、開隆堂は３・４年生に盆栽美術館、５・６年上に県立近代美術館、５・６年下には岩槻人形と見沼の竜ということで、さいたま市関連のものが多いのは開隆堂の方と思われますので、身の回りのものを美的な目で見るという姿勢を育てるという観点では開隆堂の方が良いように思いました。

細田教育長　　他にいかがでしょうか。他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。

委員の皆様の御意見をまとめさせていただきますと、鑑賞作品が優れていること、日本文化的な作品を多く掲載していること、地域を題材とした素材を多く扱っていることなどから開隆堂出版の教科書の御推薦が多くございましたので、開隆堂出版を採択するということで御異議はありませんか。

委員各位　　＜異議なし＞

細田教育長　　それでは、図画工作の教科書は、開隆堂出版を採択することとします。

家庭

細田教育長　　続きまして、家庭の教科書について協議検討を行います。

調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　家庭の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された２種２点全てについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。

まず、東京書籍です。内容については、５２、５３ページを御覧ください。巻頭や題材ごとに示されている「いつも確かめよう」には、基礎的・基本的な知識や技能のポイントがまとめられ、必要な時にいつでも何度でも確認することで、知識・技能の確実な習得を図ることができるように工夫されています。また、５１ページ「話し合おう」では、設定された題材を解決するために、他者と協働して行う活動を設定するとともに「思考ツール」を資料とし、児童が見通しをもって活動できるよう工夫されています。資料については、４８，４９ページを御覧ください。「プロに聞く」「日本の伝統」「日々の備え」などのコラムを掲載し、学習内容や生活への興味や意識が高まるよう工夫がされています。表記・表現については、巻末の折り込みを御覧ください。調理や製作に関わる内容をまとめて示すと共に、実習を安全に行うために必要な箇所に「安全マーク」を付け、児童が安全に留意して学習を進めることができるよう工夫されています。

次に、開隆堂出版について御説明いたします。内容については、１０ページを御覧ください。さらに、１４，１５ページと続けて御覧いただきますと、タイトルが「なぜ～だろう」など、児童が学習の課題を的確に捉え、学習活動を行うことで概念的な理解が図られ、知識・技能の習得につながったり、実習ごとに「できたかな」欄を設けることで、技能についての学習成果を確かめたりすることができるよう工夫されています。５６ページを御覧ください。小題材３「生かす・深める」では、実習等を通して分かったことやできるようになったことをまとめ、話し合ったり発表したりする学習活動を設けたり、学習したことを活用して考えたことをまとめる製作計画書や調理カードなどの例を示したりすることで、児童の思考力・判断力・表現力を育むことができるよう工夫されています。資料については、５３ページを御覧ください「ＱＲ」マークがついている調理や製作に関わる内容には、ページ右上に「ＱＲコード」を掲載し、対応した端末で読み取ると、教科書の内容に関するデジタルコンテンツを参照することができるよう工夫されています。表記・表現については、２８ページを御覧ください。題材始めの大きな写真やイラストから課題に気付かせたり、製作や調理では、横流れのレイアウトで背景の色の帯で示し、児童が活動のイメージをもちやすくしたりするなどレイアウトが工夫されています。

以上で、家庭の説明を終了いたします。

細田教育長　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長　　種目家庭について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－１、１０ページを御覧ください。

推薦する発行者は、東京書籍、開隆堂出版の２種です。

東京書籍の優れている点は、学年末に活用できる「学習を振り返るページ」を設定し、できるようになったことを実感させることで、児童の学習意欲が高まるよう工夫されている点などが挙げられます。

開隆堂出版の優れている点は、児童が学習の課題を的確に捉えながら活動を行うことで、知識・技能の習得につながったり、実習ごとに技能についての学習成果を確かめたりすることができるように工夫されている点などが挙げられます。

細田教育長　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします

指導１課長　　それでは、家庭の各学校における主な研究所見を、教科書目録順に報告いたします。

東京書籍、写真や情報量が多く、調理実習の工程は、写真で順を追っているので分かりやすい。開隆堂出版、文、挿絵、写真が整理されており、手縫いやミシンの使用方法などが図解資料で効果的に示され分かりやすい、などでございます。

なお、各学校の研究所見の概要につきましては、資料Ｃ‐１、１５ページにまとめておりますので御覧ください。

細田教育長　　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員　　私は最終的に開隆堂が一番良いと思っています。３０ページに、考えよう整頓をどうしたらいいか、などの内容が簡潔にまとまっていること、５３ページのＱＲコードは画期的で一目見れば内容が理解できこれはいいと思います。また８１ページ、生活時間を守る。隣のページ生活時間を工夫しましょうというページがありまして、人間の生活習慣を整えることは非常に重要な点だと思います。これらのことから、私は開隆堂が優れていると考えていますが、一点、安全マークについては各教科書に記載されています。その点については調査専門員会では話題となりましたか。

調査専門員長　　安全の指定につきましては、実習ごとに安全マークをいずれの教科

書にも設定して示しております。東京書籍につきましては、巻末に安全に実習しようというページにまとめて示されております。また、開隆堂出版につきましては初めの６、７ページの安全に実習しようで、こちらも一つのページにまとめて安全に留意する点が示されてございます。

武田委員　両社を比べて、開隆堂の方は巻末に英語の用語リストがあり、また巻頭には教科の関連図もございますのでＧＳの方との関りということで、身の回りの物を英語で把握するということも出来て良いと思いました。また、もっと根本的な問題で言いますと、各教科書の最初のところに家庭科というのはどういう科目であるかということについて、見開きの家庭科マップが載っているのですが、開隆堂の方はちょうどさいたま市の心を潤す４つの言葉に似たクローバーの形で、家庭科で学ぶ４つの分野それぞれに対応する単元というのが分かりやすい形になっていると感じました。東京書籍の方は、分野が色々とりどりで盛沢山感はあるのですが、全体が見やすくはなく一覧性の無い点が気になりましたので、開隆堂が良いと思いました。

大谷委員　男女共同参画の観点から、男と女の固定的な役割感を小学校時代から克服すべきであろうという考えを強く持っています。教育活動の中でもとりわけ家庭科では特に指導していただきたいと思っているところであります。その点、開隆堂の２０ページの縫物では女子児童が掲載されていて、これは男子児童を掲載しているような教材が良いと思いますが、３４ページのできるよ家庭の仕事では、男子児童がボタン付けをしているような図があり、これは救われるような気がいたしました。

また、開隆堂の１３０ページに記載されている、私たちの生活の中の伝統文化は大事でありまして、日本の伝統文化、伝統的な食事というようなものについてもよく書かれているということで、以上の観点から私は開隆堂がよろしいかと思っております。

細田教育長　他にいかがでしょうか。他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。

委員の皆様の御意見をまとめさせていただきますと、家庭科の教科全体を一覧で分かりやすく示されている点、男女共同参画の視点からもバランスが良い点、他教科との連携との観点などから、開隆堂出版を採択するということで御異議はありませんか。

委員各位　＜異議なし＞

細田教育長　　それでは、家庭の教科書は、開隆堂出版を採択することとします。

保健

細田教育長　　続きまして、保健の教科書について協議検討を行います。
調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　　保健の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された５種１０点全てについて調査研究をいたしました。
それでは、教科書目録順に御説明いたします。
まず、東京書籍です。内容については、５，６年２０ページから２４ページを御覧ください。課題解決に向けて豊富なイラスト・グラフや写真等から情報を収集することで、基本的な知識や技能を習得できるような工夫がされています。また、各項では「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の４つのステップの学習パターンにより、基本的な知識を実践的に習得できるような工夫がされています。また、学びを記述するスペースを豊富に設け、情報を基に深めた思考を表現する場面が十分に設定されています。資料については、５，６年４６ページを御覧ください。「けがの防止」の「けがの手当」では、「はってん」としてＡＳＵＫＡモデルについて紹介されています。また、５，６年１８ページを御覧ください。パラリンピックアスリートの言葉や運動に関する資料、系統的な発展内容を記載することで、運動と健康の関連について具体的な考えをもてるような工夫がされています。表記・表現については、３，年生３４、３６ページを御覧ください。語彙の解説欄が設けられたり、インターネットの情報を活用できる「Ｄマーク」が明示されたりする工夫がされています。
次に、大日本図書について御説明いたします。内容については、３，４年２４、２６ページを御覧ください。「やってみよう」や「話し合ってみよう」で児童が自身の行動を振り返ったり友達の考えを聞いたりすることで、主体的に学習できるような工夫がされています。また、すべての章の初めに「学習ゲーム」を設定し、自然と学習課題に気付くことができるような工夫がされています。資料については、３，４年４ページを御覧ください。オリンピック・パラリンピックの話題を取り上げたり、アスリートの「夢と健康」について紹介したりすることで、運動と健康との関連について具体的な考えをもてるような工夫がされています。表記・表現については、５，６年５１ページを御覧ください。ウェブマークを示し、そのサイトにアクセスすることで動

画や資料など、さらなる情報を収集できるような工夫がされています。

次に、文教社について御説明いたします。内容については、５，６年１５ページを御覧ください。身近な生活行動・生活環境の中から学習課題を見付けて自ら解決していく学習過程を設定することで、健康・安全について理解し保健にかかわる基本的な技能を身に付けることができるように構成されています。また、５，６年２１ページを御覧ください。警察官、養護教諭などのキャラクターが詳しい説明をすることで、基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されています。３，４年１７ページを御覧ください。「もっと知りたい」の欄で具体的に運動の例を挙げたり運動が健康につながることをアスリートや一般の人たちからのメッセージで伝えたりすることで、運動と健康との関連について具体的な考えをもてるような工夫がされています。資料については、児童にとって分かりやすくなじみがありイメージしやすい資料を掲載し、学習意欲を喚起しています。防犯や防災、危険ドラッグ、感染症、ＡＥＤなど今日的な課題を積極的に取り上げています。表記・表現については、各ページの脚注の「つぶやきくん」で、子どもたちへのメッセージや豆知識を記載し、児童の理解を助けられるように配慮されています。

次に、光文書院について御説明いたします。内容については、３，４年１６ページを御覧ください。１時間を原則見開きで学習することを基本とし、「導入」「学習課題」「学習活動」「まとめ」「活用」を学習の流れに沿って配置するという明確な学習過程を統一する工夫がされています。また、導入では学習意欲を高めるとともに、学習内容を自分ごととして捉えさせるような工夫がされ、章末の「学習のまとめ」では、学習した内容を選択式の問題で確認したり丁寧に振り返ったりすることで、学習内容の確実な定着を図る工夫がされています。資料については、食に関する内容、情報化社会への対応、共生社会の実現など、現代的な課題への対応を重視する工夫がされています。また５，６年３５ページを御覧ください。ＡＳＵＫＡモデルの資料が掲載されています。表記・表現については、３，４年３１ページを御覧ください。他学年・他教科との繋がりや関係する情報を「豆知識」として掲載しています。また、ＱＲコードを読み込むと動画資料等も活用でき、学習内容の理解に役立つような工夫がされています。

最後に、学研教育みらいについて御説明いたします。内容については、３，４年６、７ページを御覧ください。それぞれの学習において学習課題を明示するとともに、「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」の構成で、保健の見方・考え方を働かせることができるような工夫がされています。また、１単位時間を見開きで構成するこ

とで見通しをもって学習できるようにしたり、学習したことを広げたり深めたりできるように「もっと知りたい・調べたい」として詳しい資料を豊富に掲載したりして、児童の探究心に応えられるような工夫がされています。資料については、５，６年表紙裏の口絵でオリンピック・パラリンピック選手を掲載したり、５，６年１３ページ中段の「体育とつなげる」「関連」マークなどを示したりすることで、運動領域との関連を図るような工夫がされています。表記・表現については、５，６年の１４、１５、１６ページを御覧ください。児童や教師などのキャラクターが語りかける形式を用いたり、分かりやすいマークで詳細な情報や学習のポイントが示されたりしています。

以上で、保健の説明を終了いたします。

細田教育長　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長　　種目保健について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－１の１１ページを御覧ください。

推薦する発行者は、東京書籍、光文書院、学研教育みらいの３種です。

東京書籍の優れている点は、課題解決に向けて豊富な写真やイラスト、グラフ等が示され、またレイアウトがとても見やすく、基本的な知識や技能を習得できる工夫がされている点、また、各項での学びを記述するスペースを豊富に設けてあり、情報を基に思考を表現する場面が十分に設定されている点、学習の発展として「ＡＳＵＫＡモデル」が紹介されている点などが挙げられます。

光文書院の優れている点は、導入で児童の学習意欲を高めるとともに、学習内容を自分ごととしてとらえさせるような工夫がされている点、１時間で学習する内容が見開きで構成され、全単元が同じ学習の流れで統一されていることで、見通しをもって学習できる点などが挙げられます。

学研教育みらいの優れている点は、１単位時間を見開きで構成することにより、見通しをもって学習することができるような工夫がされている点、学習したことを広げたり、深めたりできるように「もっと知りたい・調べたい」として詳しい資料が豊富に掲載され、児童の探究心に応えられるような工夫がされている点などが挙げられます。

細田教育長　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします

指導1課長　それでは、保健の各学校における主な研究所見を、教科書目録順に報告いたします。

東京書籍、イラストや写真が多く、教科書が書き込み形式になっていて分かりやすい。大日本図書、現代的な諸課題を通して、より身近に、多角的に学習に取り組める構成になっている。文教社、内容が分かりやすくまとめてあり、イラストや写真もわかりやすく効果的である。光文書院、課題が分かりやすく提示してあり、イラストや写真も多く、学習内容が分かりやすい。学研教育みらい、写真やイラストが多く、保健の見方・考え方を働かせている例が豊富であり、授業が進めやすい、などでございます。

なお、各学校の研究所見の概要につきましては、資料C－1、16ページにまとめておりますので御覧ください。

細田教育長　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員　東京書籍と光文書院にＡＳＵＫＡモデルが載っています。ＡＳＵＫＡモデルは皆さんご存じの様に、さいたま市で起きた事故をもとに作成されており、これが掲載されていない教科書をさいたま市が採用していいのかという疑問を持っています。この点について、調査専門員会においてはどのような話がありましたか。

調査専門委員長　調査専門員会では、ＡＳＵＫＡモデルについて触れることで、子どもたちの意識高揚が図られるという話題になりました。

石田委員　光文書院は病気の予防という点では一番よく書かれています。19ページにはストレスについても記載されており、これは重要な内容なので非常に良いと思います。

細田教育長　石田委員よりＡＳＵＫＡモデルについて御指摘ありましたが、調査専門員会では、より深い意見はなかったのでしょうか。

調査専門員長　さいたま市で起きた事件事故ですので、教科書に載っていることで、子どもたちが改めて事故の重大さ、自分たちが気を付けなければならないというような気持ちになるのではないかというような議論がありました。また、事故に遭われた明日香さん、お母様の桐田様のお気持ちが教科書に掲載されており、二度とこういう事故が起こらないように、さいたま市としてこの教科書を使うことに意義があるのではないかという議論もありました。

細田教育長　　選定委員会の中でもそのような議論はあったのでしょうか？

選定委員長　　当然ＡＳＵＫＡモデルについて議論いたしました。ＡＳＵＫＡモデル自体はさいたま市で作った、子どもの命を守るための大切なプログラムでございまして、全国で北海道から沖縄までこのプログラムを周知し、これに基づいて教育あるいは活動していただきたい思いが大変強くございます。そうした中で子どもが使う教科書にこれが掲げられているということで、この二つについて推薦をさせていただいたところでございます。

大谷委員　　ＡＳＵＫＡモデルの取り上げ方を考慮すると、東京書籍の方が良いように思います。また、重箱の隅を突っつくようですが、光文書院の一番見開きの辻沙絵さん、他の教科書では重本沙絵さんと記載されておりどちらが正しいのか、おそらく重本沙絵さんが正しいと思いますが確認をお願いします。もし重本沙絵さんだったら辻沙絵さんが誤りになるということであればこの点からも東京書籍が良いように思います。

武田委員　　ＡＳＵＫＡモデルについて、お母様の桐田さんのお気持ちとしては、ＡＥＤをちゃんと使う、そのやり方を広めてほしいということだと思います。そうしますと、東京書籍の方は実際人が倒れたときにどのようにＡＥＤを使用するのかということが、プロセスで分かりやすく実際に使える形で書かれていますが、光文書院は文章でＡＥＤの使用などについて書いているだけで、実際にＡＥＤを扱う場面に即して考えますと、東京書籍の方がよろしいのではないかと思います。

柳田委員　　ＡＳＵＫＡモデルが載っている教科書の中で、他にさいたま市や埼玉県を扱っている内容がありましたら教えていただければと思います。

調査専門員長　　さいたま市とゆかりのあるものについて御説明いたします。まず東京書籍ですが、先ほどのＡＳＵＫＡモデルのほかに、５・６年７７ページに健康づくりのためのスポーツイベントにさいたま市の写真が掲載されています。続いて光文書院でございますが、３・４年の３５ページに宇宙飛行士と運動というところで、若田光一氏の写真が掲載されております。最後に学研教育みらいですが、５・６年の２３ページにさいたま市の自転車専用レーンの写真が掲載されているほか、５５ページにさいたま市のゴミ清掃工場の写真が掲載されております。
　なお、先ほどの辻沙絵さんの名前についてですが、現在はご結婚さ

れて重本沙絵さんということで活動されているようですので、光文書院の方は結婚前の名前で掲載していることになります。

野上委員　　ＡＳＵＫＡモデルなどの危機管理について、他の教科書で紹介されているような事例はありますか。

指導１課長　　ＡＳＵＫＡモデルが掲載されているのは、保健の教科書というふうに把握しています。

大谷委員　　今、ＡＳＵＫＡモデルに関連し、東京書籍では４６ページに胸骨圧迫とＡＥＤを適切に使用するよう記載ありますが、学研教育みらいにはどこに掲載されていますか。

調査専門員長　　学研教育みらいでは５・６年の３０ページ右下に心肺蘇生とＡＥＤについて掲載があります。

細田教育長　　他にいかがでしょうか。他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。
　委員の皆様の御意見をまとめさせていただきますと、ＡＳＵＫＡモデルが扱われており、ＡＥＤの使用などについて分かりやすいことなどから東京書籍を採択するということで御異議はありませんか。

委員各位　　＜異議なし＞

細田教育長　　それでは、保健の教科書は、東京書籍を採択することとします。
　これで、全ての教科の協議が終了いたしました。それでは、１３種の教科書の採択結果について確認をしてまいりたいと思います。事務局お願いいたします。

指導１課長　　それでは、１３種の教科用図書の採択結果について、目録順に御報告いたします。国語、教育出版、書写、教育出版、社会、教育出版、地図、帝国書院、算数、東京書籍、理科、東京書籍、生活、東京書籍、音楽、教育出版、図画工作、開隆堂出版、家庭、開隆堂出版、保健、東京書籍、英語、新興出版社啓林館、道徳、教育出版、以上でございます。

細田教育長　　ただいま、指導１課長から、１３種の教科書の採択結果が確認されました。この件について、何か御質問はありますか。
　それでは、議案第８０号につきましては、ただいま確認したとおり

採択いたします。
　それでは、暫時休憩といたします。休憩は５分といたします。

議案第８１号　令和２年度使用さいたま市立中学校用教科用図書（音楽（一般）ほか）の採択について

細田教育長　　それでは再開いたします。議案第８１号につきまして、事務局から説明をお願いします。

指導１課長　　議案書の３ページを御覧ください。
　本議案は、前回の８月１日の教育委員会会議に引き続きまして、令和２年度にさいたま市立中学校で使用する、教科用図書の採択をお願いするものです。
　本日採択いただきますのは、音楽（一般）、音楽（器楽合奏）、美術、保健体育、技術・家庭（技術分野）、技術・家庭（家庭分野）の６種目でございます。
　各種目の採択では、始めに教科用図書調査専門員長から、調査専門員会の結果を報告させていただきます。次に、教科用図書選定委員長から、選定委員会の結果を報告させていただきます。その後、学校の研究結果を事務局から報告させていただきますので、審議の後、採択をお願いいたします。
　以上でございます。

細田教育長　　これから、教科書採択の協議検討に入ります。お手元にお配りしている協議順の一覧のとおり進めていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員　　＜異議なし＞

音楽（一般）

細田教育長　　それでは、音楽（一般）の教科書について協議検討を行います。
　調査専門員長から調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門委員長　　音楽（一般）の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された２種６点全てについて調査研究をいたしました。
　それでは、教科書目録順に御説明いたします。
　まず、教育出版です。内容については、１年生３３ページを御覧ください。「伝えてみよう」では、感想等を書き込めるスペースを

設け、言語活動の充実が図れるよう工夫がされております。３７ページ「聴き比べてみよう！」では、比較鑑賞教材が用意され、楽曲の特徴やよさを感じ取りやすいよう工夫がされております。資料については、３４ページを御覧ください。詳細な楽譜が掲載され、楽曲への関心を高める工夫がされております。口絵②では、作曲家の自筆楽譜を大判写真で紹介するとともに、作曲誕生に関する話題を取り上げるなど、音楽に対する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組ませる工夫がされております。表記・表現については、３３ページを御覧ください。ページの端に、楽曲の音楽史上の位置が示されており、作曲の年代や音楽様式を掴みやすいよう工夫がされております。

次に、教育芸術社について御説明いたします。内容については、２・３年下の音楽学習ＭＡＰを御覧ください。こちらに示されている題材は、中学校学習指導要領の指導事項に基づいて構成されております。楽曲ごとに取り上げるべき〔共通事項〕が「学習の窓口」として記号化され、題材で取り扱う楽曲の関連が示されております。資料については、口絵⑥を御覧ください。我が国の音楽文化に関する写真資料が見開きで用意されており、我が国の伝統的な音楽に対する関心を高められるよう工夫がされております。７４ページの「耳でたどる音楽史」では、日本と西洋の音楽史、音楽家が一覧でまとめられ、流れがつかみやすくなっております。表記・表現については、３２ページを御覧ください。「この頃、日本では」の欄があり、日本史との関連から楽曲を理解できるよう工夫がされております。

以上で、音楽（一般）の説明を終了いたします。

細田教育長　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします

選定委員長　　種目、音楽（一般）について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－２の１ページを御覧ください。

推薦する発行者は、教育出版、教育芸術社の２種です。

教育出版の優れている点は、楽曲に関連した写真の使い方に工夫があり、楽曲に対する生徒のイメージを掻き立てるのみならず、学習への興味・関心を高めるよう配慮されている点などが挙げられます。

教育芸術社の優れている点は、楽曲に関連する音楽記号とともに関連する楽典のページを示すことで、生徒が意味や読み方を容易に検索できるよう工夫がされている点などが挙げられます。

細田教育長　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします。

指導１課長　　音楽（一般）の各学校における調査研究結果につきましては、研究所見の概要を、資料Ｃ－２、１ページにまとめておりますので、御確認ください。
なお、現在、教育出版の教科書を使用しております。

細田教育長　　以上の説明を踏まえまして、協議を行いたいと思います。委員の皆様は、御質問や御意見をお願いいたします。

石田委員　　小学校の教科書には、英語の歌が結構載っていましたが、中学校の教科書はどうですか。

調査専門員長　　例えば教育出版の３の上、７８ページにアメイジンググレイスなどがございます。

武田委員　　今の石田委員のお話で私が答えるべきことではないかもしれませんが、英語だけではなく外国語ということも含めますと、教育出版は１年生に一つ、教育芸術社は１年生に二つ、また２・３年の上の方は教育出版が一つ、教育芸術社は一つ、下の方は一つずつということで、やや教育芸術社が多いとは思いますが、今の観点では甲乙つけ難いと思い、グローバル的なことで考えますと、私が比べたところでは、両社とも大丈夫であると感じました。もう一点申し上げさせていただきますと、創作について、教育出版の方は、各学年の目次を見ると分かりやすいのですが、音のスケッチ創作のページで曲作りが各学年で複数設定されているというところで、教育芸術社の方はそのスキルがだんだん上がるようなプログラムのため目次で見通しを持って取り組める形式となっておらず、音楽というと聴く、歌うということだけでなく、自分で創るという視点があるという点で教育出版の方が一歩進んでいると思いました。

大谷委員　　二つを比べてみますと、花という滝廉太郎の名曲の扱いについて、教育出版の方が２・３年生下の冒頭に、教育芸術社の方は２・３年の下の４ページにありますが、歌の背景という面では教育出版の方が良く出来ているのかなという気がいたします。同じように荒城の月も比べてみましたが、教育出版は夜に月が出ているところ、教育芸術社の方は昼間の写真が出ているわけで、そういった意味では教育出版がよろしいかなと思います。

細田教育長　　　　　　特に御意見等が無ければこれで協議を終了し、採決に移りたいと思います。
言語活動が充実している点、創作について工夫されている点などの御意見がござました教育出版を採択するということで御異議はありませんか。

各委員　　　　　　　＜異議なし＞

細田教育長　　　　　　それでは、音楽（一般）は教育出版を採択することとします。

音楽（器楽合奏）

細田教育長　　　　　　続きまして、音楽（器楽合奏）の教科書について協議検討を行います。
調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門委員長　　　　音楽（器楽合奏）の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された２種２点全てについて調査研究をいたしました。
それでは、教科書目録順に御説明いたします。
まず、教育出版です。歌唱や鑑賞教材で扱う楽曲を多用することで、歌唱分野、鑑賞領域との関連を図った学習を展開し、思考力・表現力をはぐくめるよう工夫がされております。内容については、３７ページを御覧ください。平調子の響きを生かして「荒城の月」の前奏をつくってみようでは、器楽の学習を歌唱・創作表現へとつなげ、器楽と歌唱、創作分野の関連を図った学習が展開できるよう工夫がされております。８ページを御覧ください。ページの端にリコーダーの新出音の指遣いが示され、生徒が自分の力で学習できるように配慮されております。資料については、口絵①を御覧ください。演奏者の楽器や音楽への思い、考えを演奏場面の写真入りで紹介することで、器楽表現への興味・関心を高めるとともに、楽器の構え方について学べるよう工夫がされております。表記・表現については、３４ページを御覧ください。箏による二重奏曲が掲載されており、他者と協働しよりよい音楽表現を生み出す工夫がされております。
次に、教育芸術社について御説明いたします。中学生に触れさせたい名曲の旋律をアルト・リコーダーで演奏できる楽譜を用意し、基本的な技能の定着を図るとともに、興味・関心を高める配慮がされております。内容については、８から１０ページを御覧ください。楽譜の端に使用する音の音域が記され、技能に応じて楽曲を選択できるよう

になっております。練習していく上で生徒が疑問に感じるような内容をQ＆A形式でまとめ、自主的に練習に取り組めるよう工夫がされております。資料については、口絵⑧を御覧ください。日本の伝統音楽の楽器編成が写真を使い分かりやすく示されております。また、３１ページの箏を平調子に調弦して旋律をつくろうでは、具体的な手順を示し、器楽と創作分野の関連を図った学習が展開できるよう配慮されております。表記・表現については、４６ページを御覧ください。打楽器の多様な奏法を、記号を用いた楽譜表記で写真資料と関連付けながら、分かりやすく示されております。

以上で、音楽（器楽合奏）の説明を終了いたします。

細田教育長　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長　　種目音楽（器楽合奏）について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－２の２ページを御覧ください。

推薦する発行者は、教育出版、教育芸術社の２種です。

教育出版の優れている点は、歌唱教材や鑑賞教材で取り上げている楽曲を多く用いたり、小学校で学習した楽曲を発展的な教材として取り上げたりすることで、歌唱分野、鑑賞領域との関連を図った学習が展開できるように配慮されている点などが挙げられます。

教育芸術社の優れている点は、中学生に触れさせたい名曲の旋律を、アルト・リコーダーで演奏できる楽譜が用意され、基本的な技能の定着が図れるとともに、生徒の興味・関心を引き、親しみをもって学習に取り組めるよう工夫がされている点などが挙げられます。

細田教育長　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします

指導１課長　　音楽（器楽合奏）の各学校における調査研究結果につきましては、研究所見の概要を、資料Ｃ－２、２ページにまとめておりますので、御確認ください。

なお、現在、教育出版の教科書を使用しております。

細田教育長　　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

私から意見させていただきます。音楽（一般）や小学校の音楽で扱っている教材等との関連性を考慮すると、教育出版が適していると考えております。

石田委員　　教科書としては教育出版の方が優れていると思いますが、一点確認したい点がございます。教育芸術社には打楽器という項目があり、カスタネットとかタンバリン、シンバルなどについて掲載されていますが、教育出版ではこの項目は扱われていないということでよろしいでしょうか。

調査専門員長　　同じような項目としては扱われておりません。

石田委員　　中学校では、タンバリンやカスタネットなどの打楽器は卒業と考えてよろしいですか。

調査専門員長　　実態に応じて小学校で使われていた楽器を中学校で使用することはございます。

野上委員　　グローバル化が進む世の中において、外国では音楽によるコミュニケーションが要求され、小学校も同様ですが、音楽器楽に期待するのはそのような時代に対応していることです。私のような年齢の人の９０％の男性は歌も楽器もできず、これが実は大きなマイナス要因となっているように思います。これを踏まえて、例えばリコーダーであれば、教育出版の方には指を置く場所について曲の左右に記載されています。実際に楽器を弾くことができるよう指導することを考慮すると、一日の長が教育出版にあるように思います。

細田教育長　　他にいかがでしょうか。他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。
委員の皆様の御意見から、教育出版を採択するということで御異議はありませんか。

委員各位　　＜異議なし＞

細田教育長　　それでは、音楽（器楽合奏）の教科書は、教育出版を採択することとします。

美術

細田教育長　　続きまして、美術の教科書について協議検討を行います。
調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　　美術の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された３種

７点すべてについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。

まず、開隆堂出版です。内容については、２・３年３４ページから３７ページを御覧ください。３４ページの左上には、題材の重点的な学習活動や目標が文章で示されております。活動の最後には、４つの観点を踏まえた振り返りが示され、授業の流れに即したページ構成となっております。作家や生徒の作品が掲載されるとともに、解説や制作方法が示され、基礎的な知識や技能が習得できる工夫がされております。資料については、様々な材料を使った参考作品を多く紹介しており、生徒の発想や表現の工夫が広がるような資料となっております。表記・表現については、すべての題材において、淡い緑色の丸い印の中に鑑賞のきっかけとなる問いかけが表記されております。

次に、光村図書について御説明いたします。内容については、２・３年３２、３３ページを御覧ください。題材名のすぐ脇に題材の目標を４つの観点に即して示し、チェックボックスを加えることで、活動の最後に振り返りができる工夫がされております。また、目標の下に問いかけを示し、形や色などの造形的な特徴について常に意識しながら活動できる工夫がされております。資料については、巻末に「学習を支える資料」として、用具の扱い方や表現技法等が示されており、主体的に活用できる資料となっております。表記・表現については、発想を広げたり構想を練ったりするコーナーを電球マークで示しております。

最後に、日本文教出版について御説明いたします。内容については、２・３年上１６、１７ページを御覧ください。題材名のすぐ脇に「学びのねらい」が４つの観点に即してマークとともに示され、生徒が授業の目標を理解しやすい工夫がされております。また、作家や生徒の作品が、解説や作者の言葉、表現技法とともに掲載され、作者の制作意図が伝わってくる工夫がされております。資料については、教科書サイズの大きさを生かし、作品を大きく掲載しております。浮世絵の資料では、和紙を用いて原寸大で掲載するなど、生徒の興味関心を高める資料となっております。表記・表現については、各題材における「ポイント」がマークとともに示され、生徒が発想や構想をする際の参考となる工夫がされております。

以上で、美術の説明を終了いたします。

細田教育長　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長　　種目美術について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報

告します。資料Ｂ－２の３ページを御覧ください。

推薦する発行者は、光村図書出版、日本文教出版の２種です。

光村図書出版の優れている点は、巻末の資料が豊富で分かりやすく配置され、生徒が主体的に理解を深めることができる点、実寸大の資料や具体的な鑑賞の視点など、作品を見て話合い活動ができるように意図され、言語活動の充実を図っている点などが挙げられます。

日本文教出版の優れている点は浮世絵の鑑賞資料は、大きく見開きで掲載され、さらに、実際の作品に近い和紙を用いるなどの工夫がされており、生徒が実感を伴いながら鑑賞できる点などが挙げられます。

細田教育長　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします

指導１課長　美術の各学校における調査研究結果につきましては、研究所見の概要を、資料Ｃ－２、３ページにまとめておりますので、御確認ください。

なお、現在、日本文教出版の教科書を使用しております。

細田教育長　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

大谷委員　私はやっぱり現在使用しております、日本文教出版の和紙による富嶽三十六景は、素晴らしい鑑賞素材だなと感じておりますので、日本文教出版が良いと思います。

武田委員　大谷委員の意見と関連するところですが、日本文教出版の浮世絵の裏側の方に東へ西へということで、比較文化的な視点で日本と西洋の比較について充実した記述がなされており、これは異文化理解をイメージでとらえるために、美術だけでなくて国語や英語などとも教科横断的な視野を育てる上でも良い作りであると思います。また、開隆堂出版では比べてみようということで、１年生の１６・１７ページに比較をすることが掲載されており、光村図書の場合はこういった記述は見当たらないように思いますが、文化的な知識を鑑賞の部分で伸ばしていくという部分では、今使っている日本文教出版が優れているのかなと思います。

細田教育長　他にいかがでしょうか。他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。

委員の皆様の御意見から日本文教出版の教科書を採択するという

ことで御異議はありませんか。

委員各位　　＜異議なし＞

細田教育長　　それでは、美術の教科書は、日本文教出版を採択することとします。

保健体育

細田教育長　　続きまして、保健体育の教科書について協議検討を行います。
調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　　保健体育の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された４種、４点全てについて調査研究をいたしました。
それでは、教科書目録順に御説明いたします。
まず、東京書籍です。内容については、８、９ページを御覧ください。「今日の学習」「やってみよう」「考えてみよう」の流れに沿って、学習状況を確認し、学習活動が進められるように工夫されています。また、書き込みを行うことが出来るように工夫され、章末の「学習のまとめ」で自己評価ができるようになっています。資料については、巻頭口絵で、スポーツの素晴らしさやスポーツ、健康・安全にかかわる仕事を扱っていたり、食育の推進を図るため、健康を支える食事について、スポーツ選手の食事を例に挙げたりして、生徒の興味・関心が高まるように工夫されています。表記・表現については、聖火リレーをパラパラ漫画で表し、東京オリンピックに興味・関心をもつことができるようになっています。また、独自のキャラクターを使用し、生徒の興味を引くように工夫されています。
次に、大日本図書について御説明いたします。内容については、１１２ページ、１１３ページを御覧ください。「今日の学習課題」や「考えよう」に沿って学習を進める形式になっており、単元の終わりに思考力を高める「学習を活かして」や「キーワード」があり、振り返りを丁寧に学習できるよう配慮されています。各章の「学習のまとめ」の「重要な言葉」が辞書的役割をもっており、知識の定着を図る工夫がされています。資料については、心肺蘇生やオリンピックなど、資料が写真で構成されている箇所があり、分かりやすく工夫されています。章末には、重要な言葉や学習の要点が記載された学習のまとめがあり、理解が深められるようになっています。表記・表現については、イラストの説明に加え、写真を使用しており、実生活に近い形で、分かりやすく解説されています。イラストや本文中の重要語句は太字ゴシックで強調されており、読みやすいように工夫されています。

次に、大修館書店について御説明いたします。内容については、１０４ページから１０７ページを御覧ください。中学生が興味をもって授業に取り組めるよう、各項目の始めに「クエスチョン」、その他にも「コラム」、「チャレンジ」、などがあり、授業の内容を広げる工夫がふんだんにされています。資料については、項目ごとに、調べ学習への対応ができるように、ホームページのＵＲＬが設けてあり、より主体的に活動できるような支援がされています。写真やイラストの配置が適切で分かりやすい工夫がされています。表記・表現については、本文の背景を薄黄色の下地で着色するなど色使いの工夫が見られ、図や表といった豊富な資料と別けて配置され、見やすい構成がされております。黄色の吹き出しを活用し、その資料から読み取って欲しいポイントを分かりやすく示す工夫がされています。

最後に、学研教育みらいについて御説明いたします。内容については、７２ページを御覧ください。「ウォームアップ」で、今ある知識を活かして考えてから、学習活動が進められるように配慮されています。章の終わりに「探求しようよ」や「章のまとめ」で知識の定着を図ったり内容を深めたりする配慮がなされています。資料については、学習内容に関連した読み物資料の「コラム」を設け、生徒の興味・関心を高める工夫がされています。オリンピックや心肺蘇生法に関する資料が豊富に掲載されております。表記・表現については、各章の本文が左側に標記されており、資料は右側や上部・下部に配置され、本文との関連が分かりやすい工夫がされています。ページの一番下の部分に「情報サプリ」「プラス」「リンク」等の項目があり、生徒の主体的な活動の支援がされています。

以上で、保健体育科の説明を終了いたします。

細田教育長　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長　　種目保健体育について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－２の４ページを御覧ください。

推薦する発行者は、大修館書店、学研教育みらいの２種です。

大修館書店の優れている点は、中学生の実態に即した健康課題を積極的に取り上げることで、学んだ知識を実生活において生かしていけるように配慮されている点などが挙げられます。

学研教育みらいの優れている点は、生徒の興味・関心を高めるために、身近な問題を取り上げ、学習内容に関連した豊富な読み物資料を設けている点などが挙げられます。

細田教育長　　　　　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします

指導１課長　　　　　　保健体育の各学校における調査研究結果につきましては、研究所見の概要を、資料Ｃ－２、４ページ上段にまとめておりますので、御確認ください。
なお、現在、大修館書店の教科書を使用しております。

細田教育長　　　　　　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

細田教育長　　　　　　指導１課長に質問させていただきます。学校からの調査研究の資料を拝見いたしますと大修館書店の教科書についてのみ所見がありますが、他の教科書に関する所見は無かったということですか。

指導１課長　　　　　　おっしゃる通りでございまして、推薦もありませんでした。

武田委員　　　　　　　大修館書店と学研教育みらいを比べさせていただき、どちらも発展的な内容はそれぞれ充実していますが、学研の方は探求しようよということで、知識を深めることが充実しているように思います。一方で大修館の方は、実際にやってみようということでアクティビティに関わる部分がより充実しているように思います。自己の生活や健康に主体的に取り組むという視点で考えると、大修館が良いというふうに思います。

細田教育長　　　　　　他にいかがでしょうか。他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。
委員の皆様の御意見や学校からの圧倒的な支持を踏まえ、大修館書店を採択するということで御異議はありませんか。

委員各位　　　　　　　＜異議なし＞

細田教育長　　　　　　それでは、保健体育の教科書は、大修館書店を採択することとします。

技術・家庭（技術分野）

細田教育長　　　　　　続きまして、技術・家庭（技術分野）の教科書について協議検討を行います。
調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　　技術・家庭（技術分野）の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された３種３点全てについて調査研究をいたしました。

それでは、教科書目録順に御説明いたします。

まず、東京書籍でございます。内容については、５６、５７ページを御覧ください。基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、製作に必要となる材料や工具等の知識や技能について、「基礎技能」として内容ごとにまとめて示されています。資料については、生徒が自分の製作品を正しく評価できるようにするための例が記載され、振り返りができるよう工夫されています。表記・表現については、目次を巻頭に組み入れ、技術分野の学習の仕方や学習内容が示されており、生徒が中学校から学習する技術分野の学習について、イメージをすることができるよう工夫されています。

次に、教育図書について御説明いたします。内容については、１８６、１８７ページを御覧ください。発想や構想を表した手書きのワークシートや計画表を掲載し、生徒が参考にしやすいように工夫されています。資料については、写真やイラストにより、製作工程が分かりやすく示されており、生徒が主体的に学習に取り組む態度をはぐくむことができるよう工夫されています。表記・表現については、「調べよう」「やってみよう」「考えよう」などマークを使用し、生徒が、実験や実習を通して学習したりすることができるよう工夫されています。

最後に、開隆堂出版について御説明いたします。内容については、１５８、１５９ページを御覧ください。各学習項目の冒頭には「学習の目標」を示し、「考えてみよう」「話し合ってみよう」などの導入課題が設定されています。また、１５９ページの下段のように、学習の節目には「振り返り」を設けることで、学習内容の定着を図ることができるよう工夫されています。資料については、写真やイラストは、生徒の目線で撮影したり描写したりするなど、生徒の理解を助けるために分かりやすく示されています。表記・表現については、技術分野の学習の進め方をイラストで示し、生徒が技術分野の学習について、イメージすることができるよう工夫されています。

以上で、技術・家庭（技術分野）の説明を終了いたします。

細田教育長　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長　　種目技術・家庭（技術分野）について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－２の５ページを御覧ください。

推薦する発行者は、東京書籍、開隆堂の２種です。

東京書籍の優れている点は、基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、製作に必要となる材料や工具等の知識や技能が、「基礎技能」として内容ごとにまとめて示されている点などが挙げられます。

開隆堂の優れている点は、生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、各学習項目の冒頭に目標を簡潔に示し、「考えてみよう」「話し合ってみよう」などの生徒の活動場面に即した導入課題が設定されている点などが挙げられます。

細田教育長　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします

指導１課長　　技術・家庭（技術分野）の各学校における調査研究結果につきましては、研究所見の概要を、資料Ｃ－２、４ページ下段にまとめておりますので、御確認ください。

なお、現在、開隆堂出版の教科書を使用しております。

細田教育長　　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

細田教育長　　指導１課長に質問させていただきます。中学校の教科書につきましては、過日も冒頭で申しましたように１年間の使用でございますので、これまで使ってきました開隆堂出版の教科書について何か学校から問題等は報告されておりますか。

指導１課長　　御質問のような内容について報告はございません。

野上委員　　午前中の小学校のときでも話題とさせていただきました、来たるSociety 5.0などを考慮すると、情報に関する技術を備えた人材の育成が社会の要請であり、日本が持続的発展をしていくためにはこの分野の人材が必要となっております。そのような観点で各教科書を見ると、開隆堂が最も優れているというように思います。

細田教育長　　野上委員御指摘のとおり、これからの社会はますますＩＣＴなどの分野が重要となり、調査専門員長におかれては、そのようなこれからの技術家庭に求められるものを踏まえ、今後も調査をしていただきたいと思います。

細田教育長　　他にいかがでしょうか。他に、御意見がなければ、これで協議は終

了にいたしまして、採決に移りたいと思います。
　ただいまの委員からの御意見から、開隆堂出版を採択するということで御異議はありませんか。

委員各位　　＜異議なし＞

細田教育長　　それでは、技術・家庭（技術分野）の教科書は、開隆堂出版を採択することとします。

技術・家庭（家庭分野）

細田教育長　　続きまして、技術・家庭（家庭分野）の教科書について協議検討を行います。
　調査専門員長からの調査研究結果の報告をお願いします。

調査専門員長　　技術・家庭（家庭分野）の教科用図書調査専門員会では、教科書目録に掲載された３種３点全てについて調査研究をいたしました。
　それでは、教科書目録順に御説明いたします。
　まず、東京書籍でございます。内容については、２２、２３ページを御覧ください。生活に必要な知識及び技術を習得させるために、基本ページはワイドＡ４版の見開きで示され、「目標」、「始めの活動」、「まとめの活動」を設け、生徒が見通しをもって学習することができるよう工夫されています。資料については、生徒の勤労観・職業観の育成のために「プロに聞く！」を掲載し、それぞれの学習内容に関わりのある職業の方から伺った、学習のポイントなどが掲載されています。表記・表現については、「考えてみよう」「生活に生かそう」の項目が、生徒の実生活に沿って示されています。
　次に教育図書について御説明いたします。内容については、１１６、１１７ページにあるように、調理や製作の実習例が多く掲載されており、生徒が主体的に学習に取り組む態度を養うために、学習意欲を高める工夫がされています。資料については、原寸大の写真で示し、幼児の手形や食生活の内容について生徒がイメージしやすいように工夫されています。表記・表現については、「やってみよう」「考えてみよう」など、生徒が考えやすくなる工夫がされています。
　最後に、開隆堂出版について御説明いたします。内容については、１８、１９ページを御覧ください。生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、学習の目標を簡潔に示し、「調べよう」「話し合ってみよう」などの生徒の活動場面に即した導入課題を設けるとともに、振り返りや学習のまとめで学習の定着が図れるよう

に工夫されています。また、教科書全体を通して「自立」と「共生」を大きなテーマとしており、友達、家族、幼児、高齢者、地域の人、外国人など様々な人とのかかわりについて考えられるよう工夫されています。資料については、中学生の視点から撮影された写真、イラストや図版などが多数掲載され、生徒の理解を深めるために分かりやすく示されています。表記・表現については、リンクマークを用いて、他の内容や技術、他教科と関連した授業ができるように工夫されています。

以上で、技術・家庭（家庭分野）の説明を終了いたします。

細田教育長　　続いて、選定委員長から２種又は３種の推薦について報告をお願いします。

選定委員長　　種目技術・家庭（家庭分野）について選定委員会の調査研究結果を、教科書目録順に報告します。資料Ｂ－２の６ページを御覧ください。

推薦する発行者は、東京書籍、開隆堂の２種です。

東京書籍の優れている点は、生徒の勤労観・職業観の育成のために「プロに聞く！」を掲載し、それぞれの学習内容にかかわりのある職業の方から伺った、学習のポイントなどが掲載されている点などが挙げられます。

開隆堂の優れている点は、教科書全体を通して「自立」と「共生」を大きなテーマとしており、友達、家族、幼児、高齢者、地域の人、外国人など様々な人とのかかわりについて考えられるよう工夫されている点などが挙げられます。

細田教育長　　続いて、学校の調査研究結果について事務局から報告をお願いします

指導１課長　　技術・家庭（家庭分野）の各学校における調査研究結果につきましては、研究所見の概要を、資料Ｃ－２、５ページにまとめておりますので、御確認ください。

なお、現在、開隆堂出版の教科書を使用しております。

細田教育長　　それでは協議を行います。御質問や御意見をお願いいたします。

細田教育長　　先ほどの技術分野に引き続きまして指導１課長に伺います。学校の調査研究所見でございますが、今使っている開隆堂出版の教科書について何か課題等は学校から報告されていますか。

指導１課長　　御質問のような内容の報告はございません。

武田委員　　先日、浦和祭りに参加し、私も娘に浴衣を着させましたが、ピンポイントで浴衣の着方だけを見ると実は教育図書が一番詳しいということはありますが、実際には、中学生の技術家庭の家庭分野は教科書だけではなく、資料集なども使っておりますので様々な見方があるとは思います。そのようなところ、開隆堂出版は欄外の知識が非常に充実しており、教科に対する興味を喚起するような形式となっているように思いますので、そういった点で開隆堂出版は良いと思います。

大谷委員　　開隆堂出版の優れている点として、１３４ページに受け継がれる食文化、和食日本人の伝統的な食文化という点などは大変充実した内容だと思います。

細田教育長　　他にいかがでしょうか。他に、御意見がなければ、これで協議は終了にいたしまして、採決に移りたいと思います。

委員の皆様の御意見から開隆堂出版を採択するということで御異議はありませんか。

委員各位　　＜異議なし＞

細田教育長　　それでは、技術・家庭（家庭分野）の教科書は、開隆堂出版を採択することとします。

これで、全ての教科の協議が終了いたしました。それでは、６種の教科書の採択結果について確認をしてまいりたいと思います。事務局お願いいたします。

指導１課長　　それでは、６種の教科用図書の採択結果について、目録順に御報告いたします。音楽（一般）、教育出版、音楽（器楽合奏）、教育出版、美術、日本文教出版、保健体育、大修館書店、技術・家庭（技術分野）、開隆堂出版、技術・家庭（家庭分野）、開隆堂出版でございます。以上でございます。

細田教育長　　ただいま、指導１課長から、６種目の教科書の採択結果が確認されました。この件について、何か御質問はありますか。

それでは、議案第８１号につきましては、ただいま確認したとおり採択いたします。

傍聴の方に申し上げます。冒頭で決まりましたとおり、ここからの審議につきましては、非公開となりますので、御退室ください。

　ここで事務局の入替えを行います。準備ができ次第、再開いたします。

議案第８２号　さいたま市教職員（管理職）の人事について

＜非公開案件につき内容は省略＞
＜議案は原案どおり可決＞

細田教育長　　以上をもちまして、本日の教育委員会会議の議事を終了いたします。
　これにて、教育委員会会議を閉会いたします。

８　閉　　　　　会　　　　　　午後５時４０分